



●この説明書について

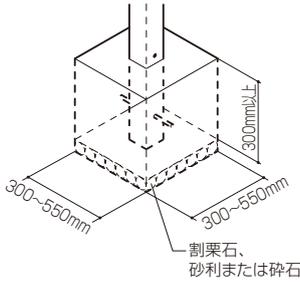
- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡しください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

チェックポイント

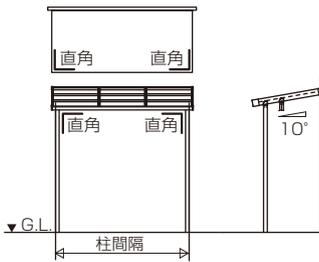
①基礎寸法

P.6参照



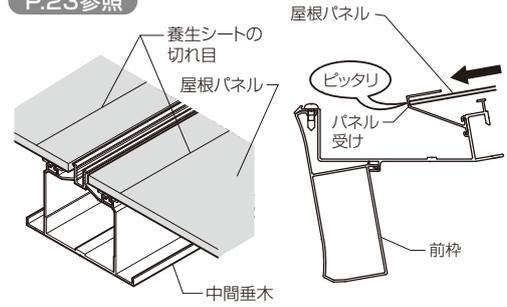
②柱の垂直・屋根の直角・勾配

P.8参照



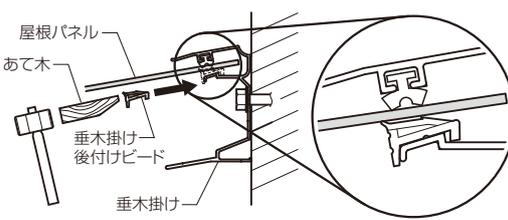
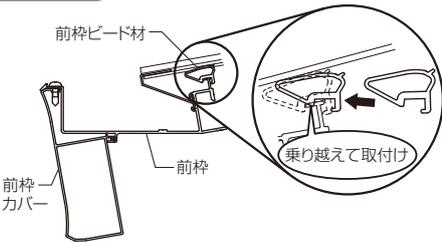
③屋根パネルののみ込み・すき間

P.23参照



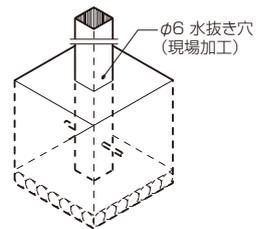
④後付けビードの取付け

P.23参照



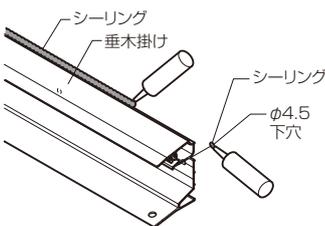
⑤水抜き穴

P.24参照

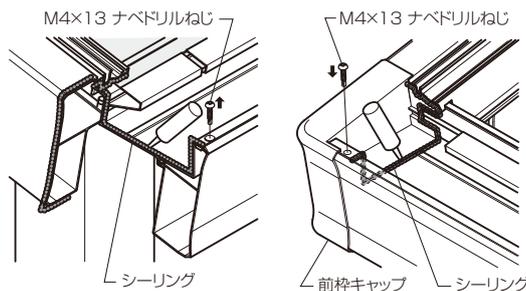


⑥シーリング

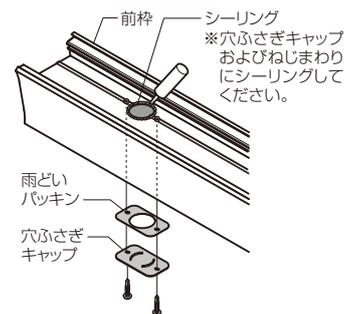
●垂木掛け P.12参照



●前枠 P.21参照

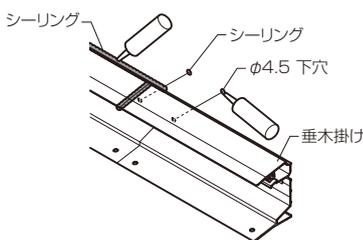


●雨どい P.11参照

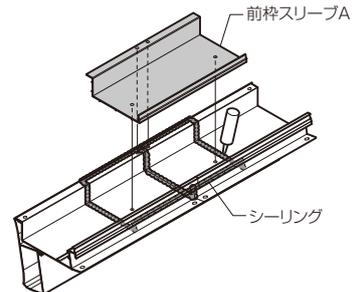
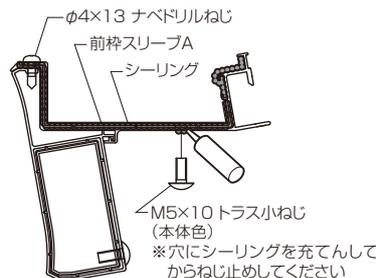


●連結部

垂木掛け連結部 P.25参照



前枠連結部 P.26参照



⑦施工完了後、ねじ・ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

■取付けされる方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。
- ・他社商品(バルコニーなど)と合わせて設置しないでください。
- ・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・崖っぴちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5・6尺	○	○	×
7～9尺	○	×	×

●躯体への固定

- ・垂木掛け、柱壁付け固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
- ・躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけに固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・ねじ・ボルトは当社指定品の指定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - φ4ねじ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - φ5ねじ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - M6ボルト：5.2N・m±0.5N・m(52±5kgf・cm)
 - M8ボルト：12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
- ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。

▲ 注 意

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水がたまらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

●パネルについて

- ・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- ・屋根パネルの取付けは垂木へののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。
 - ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
- ※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充て込んでからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングはひび割れ防止のため、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
・東レ・ダウコーニング(株)	SE960

●プライマーについて

- ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行なってください。

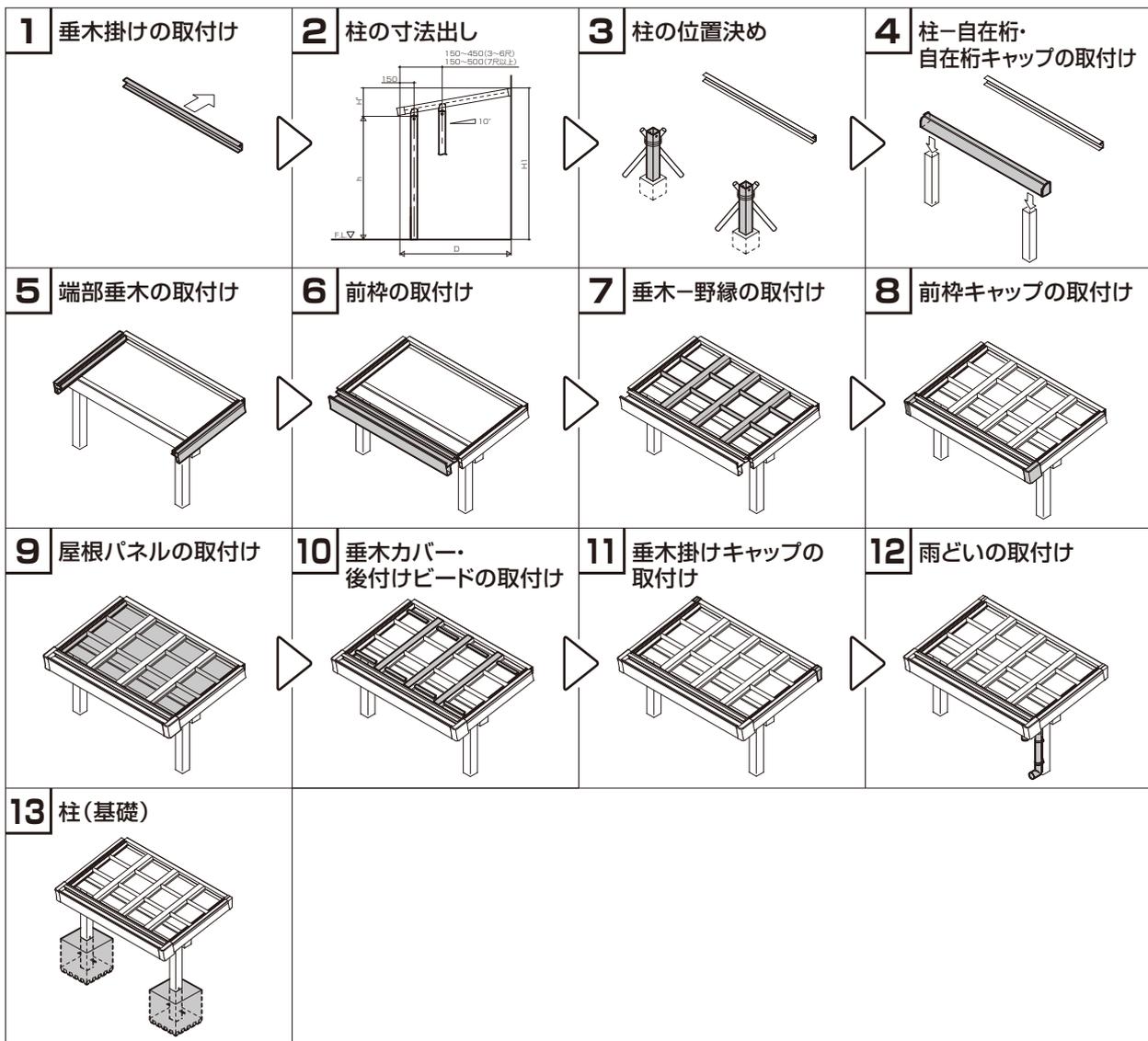
■取付け上のお願ひ

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 取付け時は、必ず足場を設けてください。
- 前枠の内観左側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくなるようにしてください。
- シャッターボックスの上を取付ける際は、メンテナンスのためのスペースを確保してください。

INDEX

■ 取付される方へのお願い	2	11 垂木掛けキャップの取付け	24
■ 取付け上へのお願い	3	12 雨どいの取付け	24
■ 構造説明図	6	13 柱(基礎)	24
■ 寸法図	8	■ 連棟タイプの場合	25
■ 取付け前準備	10	1 垂木掛けの取付け	25
■ 取付け順序	12	2 前枠・自在桁・垂木掛け連結部の組立て	25
1 垂木掛けの取付け	12	オプション 屋根材ホルダーの取付け	28
2 柱の寸法出し	13	オプション 1スパン端部下止めタイプの取付け詳細	29
3 柱の位置決め	14	■ 梱包明細表	30
4 柱-自在桁・自在桁キャップの取付け	16	■ 納まり図	38
5 端部垂木の取付け	17		
6 前枠の取付け	18		
7 垂木-野縁の取付け	19		
8 前枠キャップの取付け	21		
9 屋根パネルの取付け	22		
10 垂木カバー・後付けビードの取付け	23		

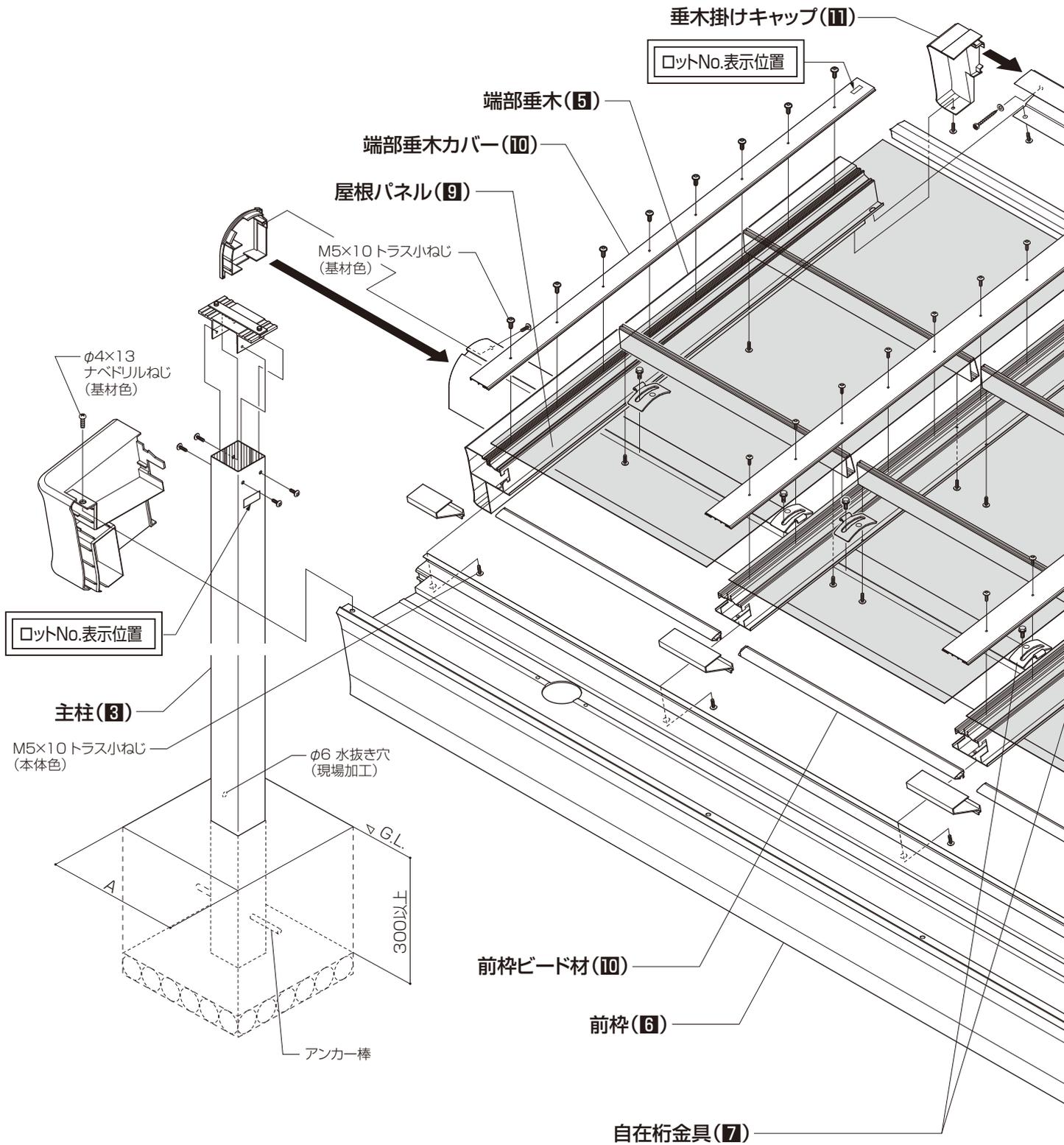
施工の流れ





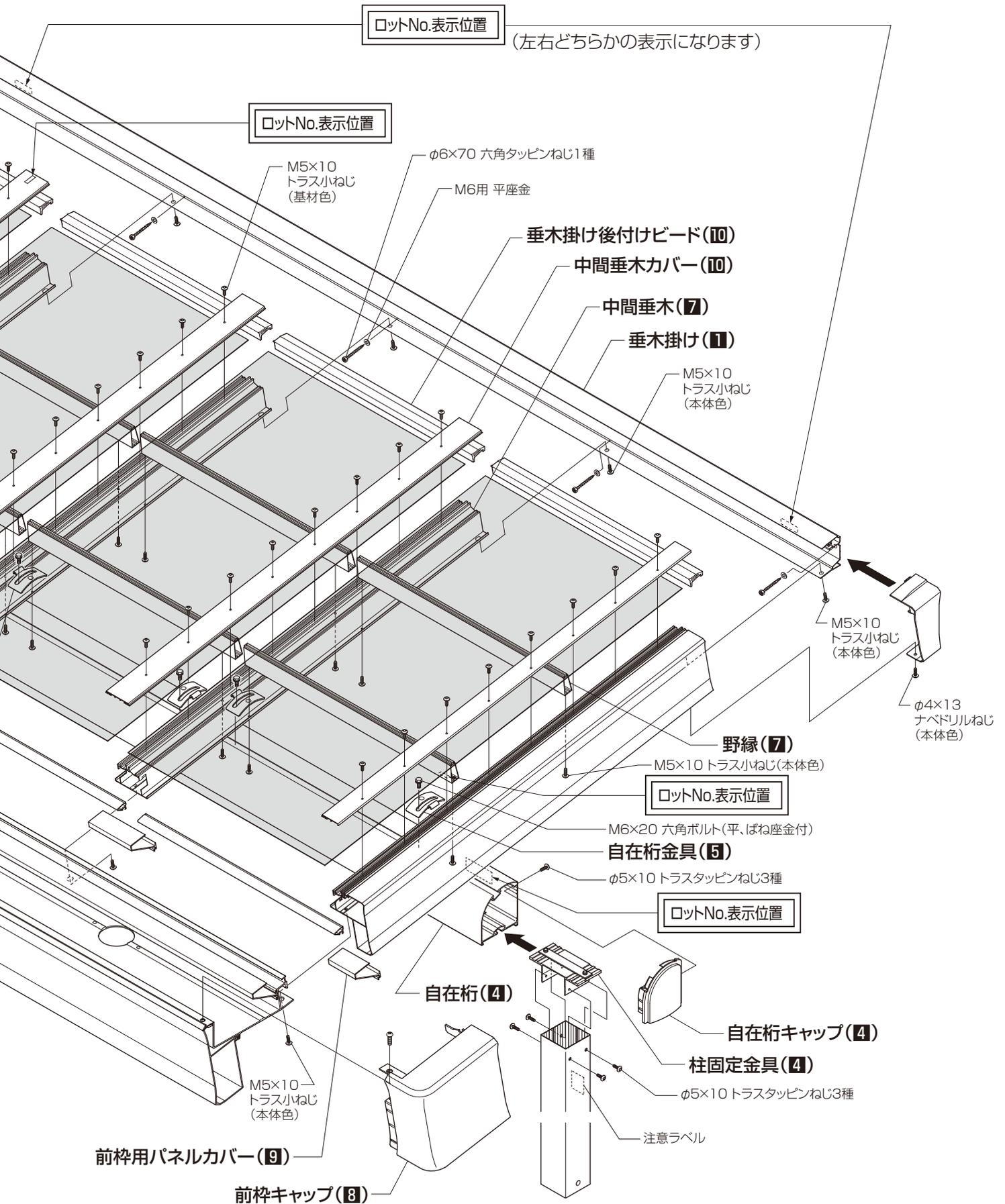
構造説明図

※図は600タイプ 間口2.0間、出幅6尺を示します。



●基礎サイズ表(A寸法)

タイプ	600タイプ								1500タイプ			
	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	3尺	4尺	5尺	6尺	
1.0間	□300								□300			
1.5間												
2.0間												
2.5間通し	□350				□500							
3.0間通し												

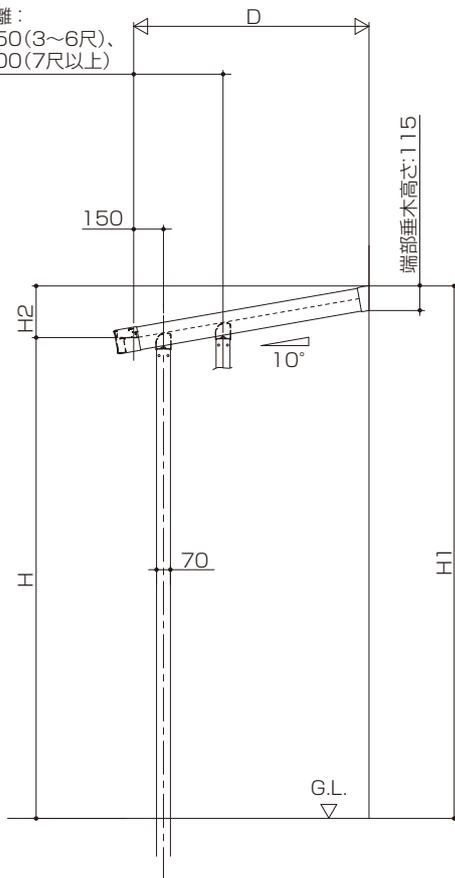


寸法図

●側面寸法図

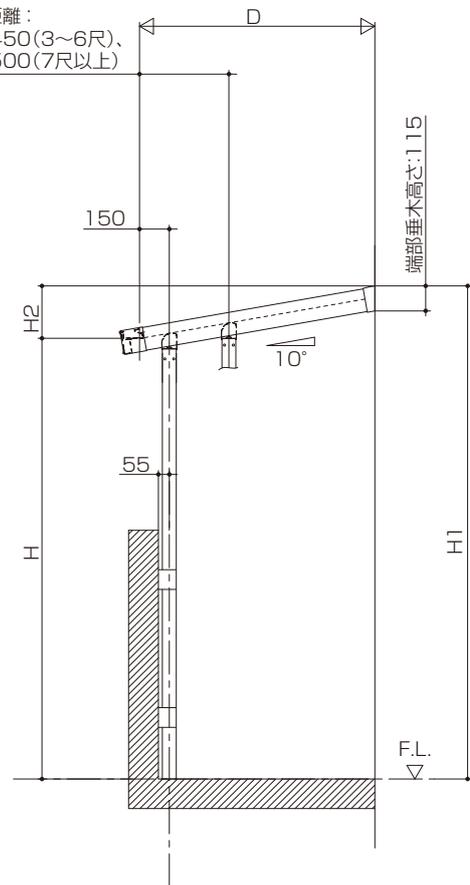
・テラス

柱移動距離：
150~450(3~6尺)、
150~500(7尺以上)



・造付け屋根

柱移動距離：
150~450(3~6尺)、
150~500(7尺以上)



【高さ寸法表】シュエット テラス

出幅	H	H1	H2
3尺	2400※	2604	204
4尺		2657	257
5尺		2710	310
6尺		2763	363
7尺		2816	416
8尺		2868.5	468.5
9尺		2921.5	521.5

※長尺柱の場合+300

【出幅寸法表】

出幅	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785
7尺	2085
8尺	2385
9尺	2685

【高さ寸法表】シュエット 造付け屋根

出幅	H	H1	H2
3尺	2200	2404	204
4尺		2457	257
5尺		2510	310
6尺		2563	363

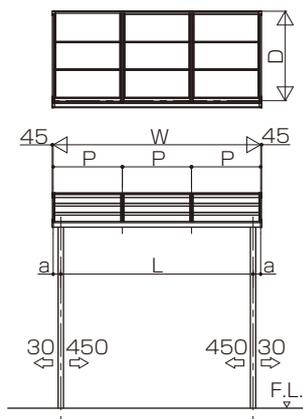
■H1寸法公式

$$H1 = H + D \times \tan 10^\circ + 48.5$$

(tan10°=0.176)

※柱の切断寸法はP13を参照してください。

●正面寸法図(単体)



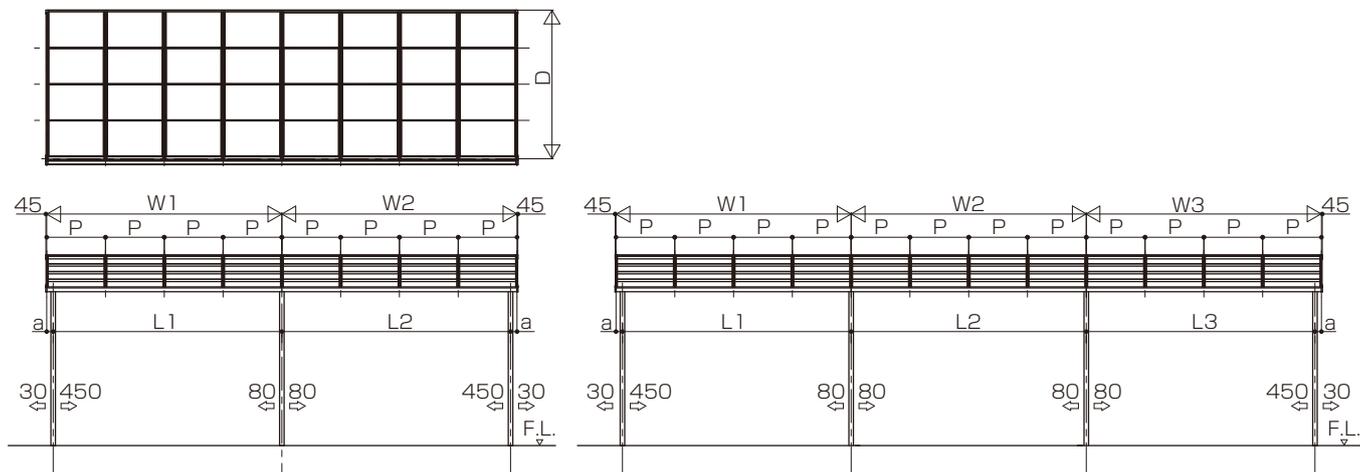
【間口寸法表】単体(関東間)

間口	関東間				
	W	L	a	P	P(9尺)
1.0間	1820	1620	145	910	455
1.5間	2730	2530			
2.0間	3640	3440			
2.5間通し	4550	4350			
3.0間通し	5460	5260			

【間口寸法表】単体(メートル)

間口	メートル			
	W	L	a	P
2000	2000	1800	145	1000
3000	3000	2800		
4000	4000	3800		
5000	5000	4800		

●正面寸法図(連棟)



【間口寸法表】連棟(関東間)

間口	関東間							a	P	P(9尺)
	W1	W2	W3	L1	L2	L3				
3.0間(1.5+1.5)	2730	2730	—	2630	2630	—	145	910	455	
3.5間(1.5+2.0)	2730	3640	—	2630	3540	—				
4.0間(2.0+2.0)	3640	3640	—	3540	3540	—				
4.5間(1.5+1.5+1.5)	2730	2730	2730	2630	2730	2630				
5.0間(1.5+2.0+1.5)	2730	3640	2730	2630	3640	2630				

【間口寸法表】連棟(メートル)

間口	メートル						a	P
	W1	W2	W3	L1	L2	L3		
6000(3000+3000)	3000	3000	—	2900	2900	—	145	1000
7000(3000+4000)	3000	4000	—	2900	3900	—		
8000(4000+4000)	4000	4000	—	3900	3900	—		
9000(3000+3000+3000)	3000	3000	3000	2900	3000	2900		
10000(3000+4000+3000)	3000	4000	3000	2900	4000	2900		

取付け前準備

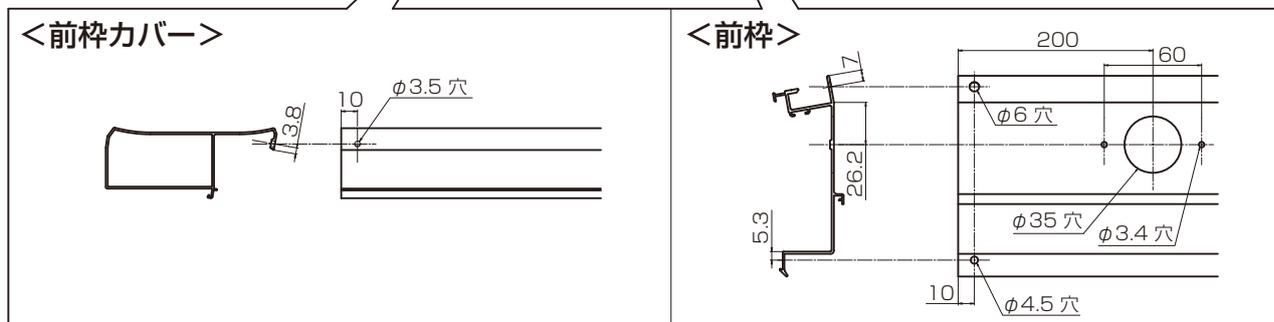
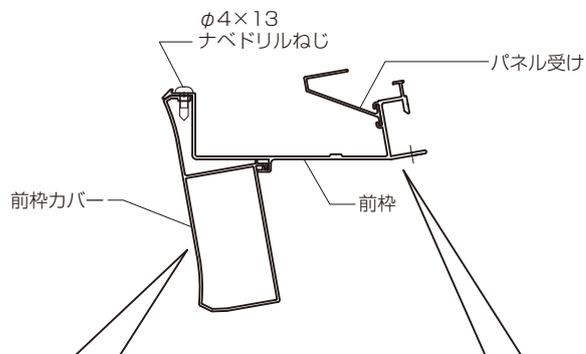
【切詰めが必要な場合】

現場サイズにより製品の切詰めが必要な場合、部材切断後に下記の端部加工をしておいてください。

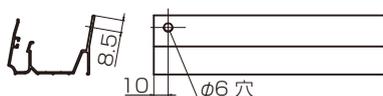
※前枠の内観左側にラベル(商品名)が張ってあります。間口切詰めをする際にはラベルが残るように切詰めてください。

■間口切詰め

●前枠



●垂木掛け

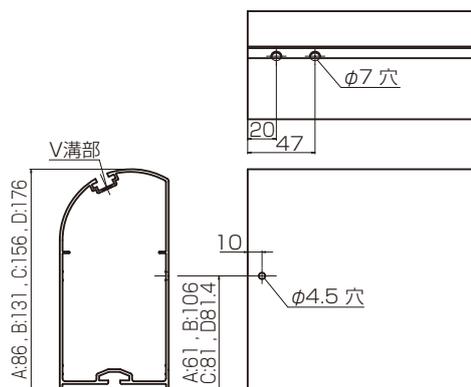


●野縁



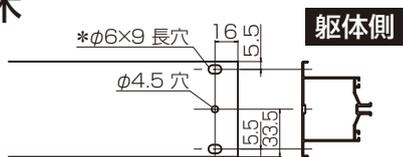
●自在桁

※自在桁金具固定裏板が取付いています。加工完了後、再度取付けてください。



■出幅切詰め *φ6×9 長穴は垂木取付け部品を使用する場合のみ加工してください。

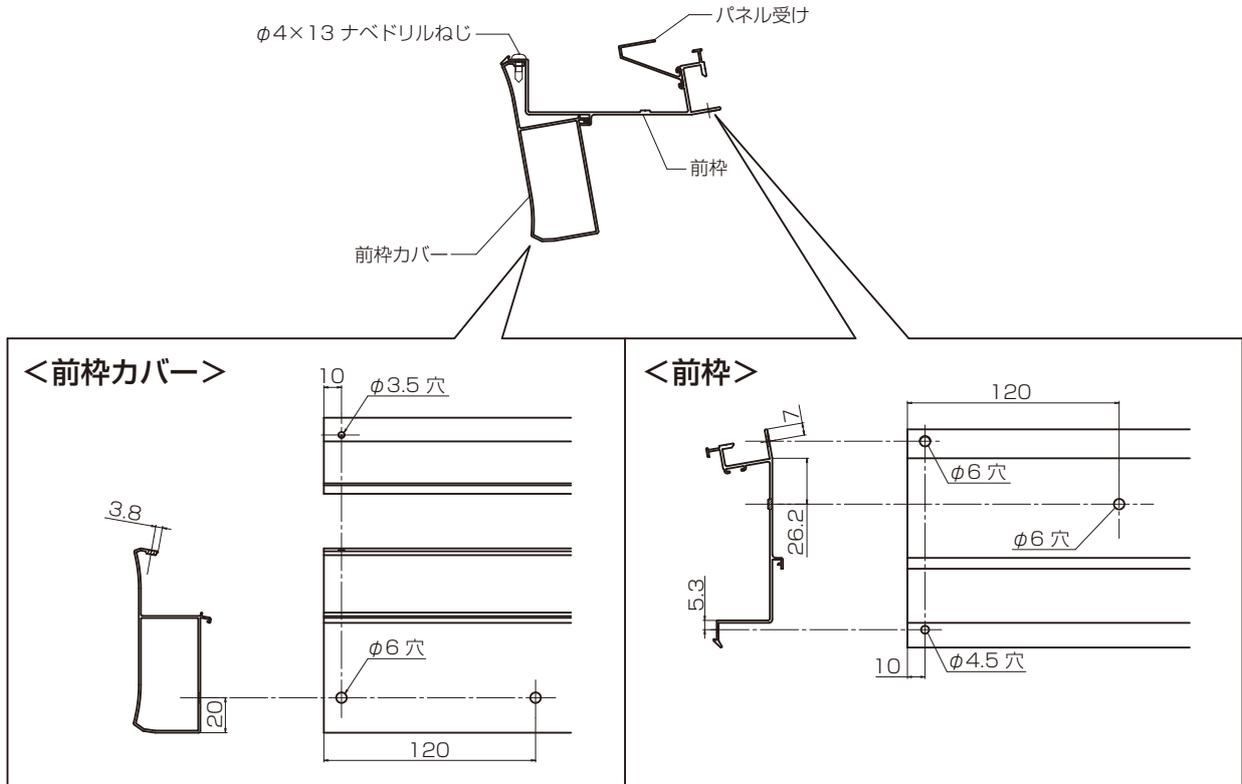
●中間垂木



●端部垂木 *本図は内観右用

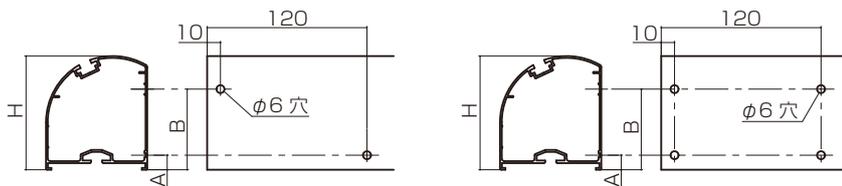


【連棟タイプの場合】
■前枠への加工



■自在桁への加工

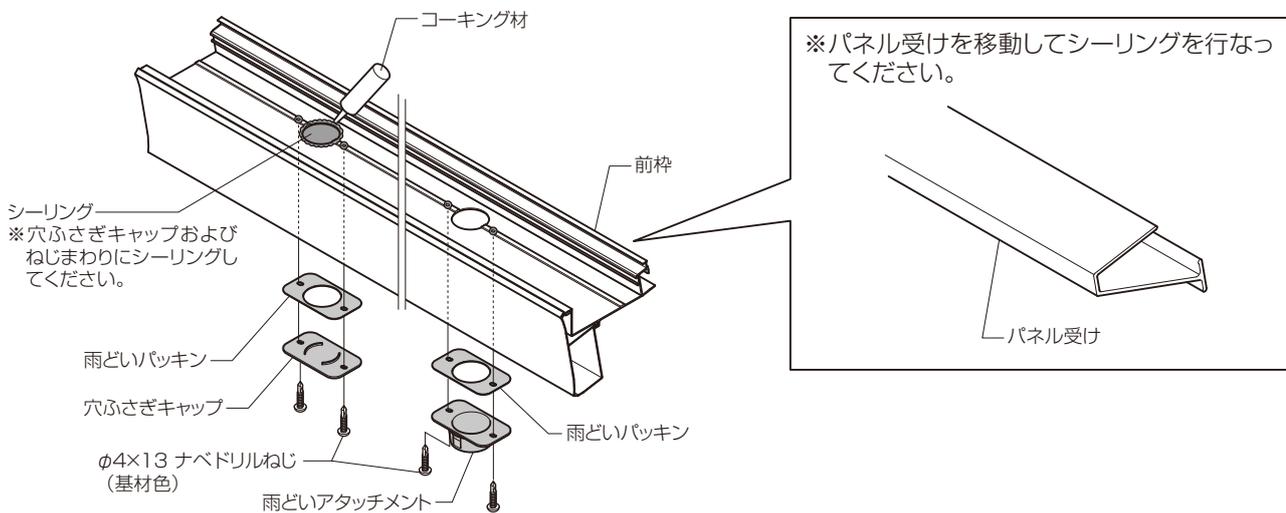
【連棟部に柱が取付かない場合】



【寸法表】

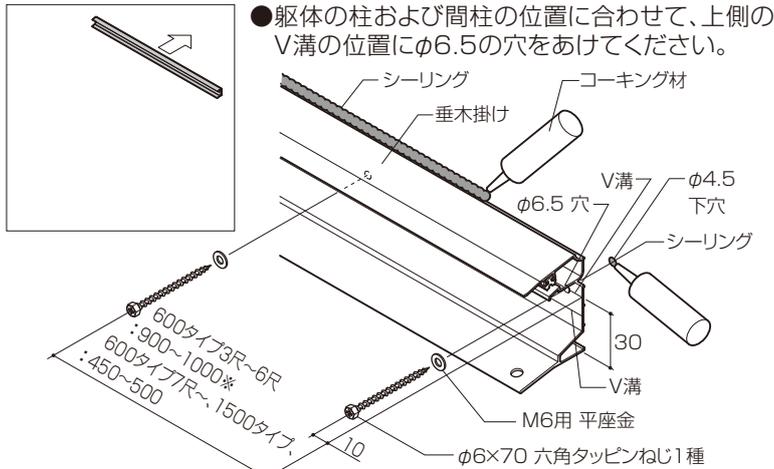
タイプ	H	A	B
自在桁A	86	11	61
自在桁B	131	56	106
自在桁C	156	15	81
自在桁D	176	15.5	81.5

【雨どいアタッチメント・雨どいの取付け】



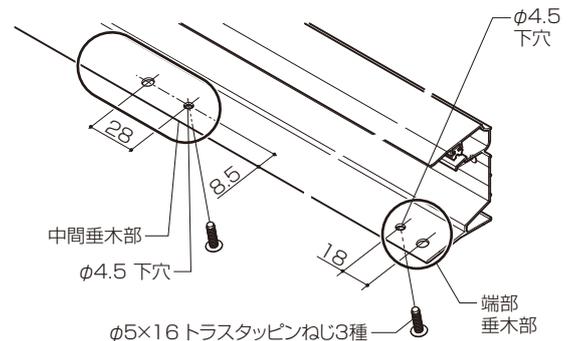
取付け順序

1 垂木掛けの取付け



※600タイプ3~6尺の場合、φ6×70 六角タッピンねじ1種は余ります。

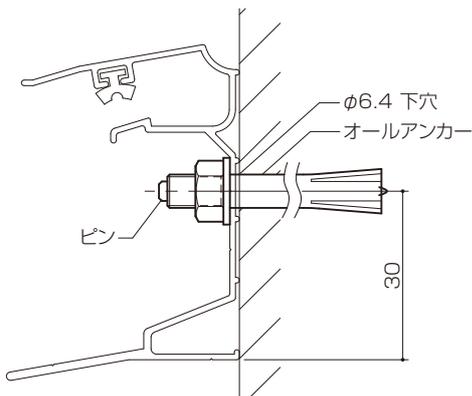
■垂木取付け部品を使用する場合



※垂木掛けの下に障害物があり、下からねじ止めできない場合に使用してください。
 ※中間垂木部への加工は、既に加工されている穴の左右どちら側でもかまいません。

【RC構造の場合】

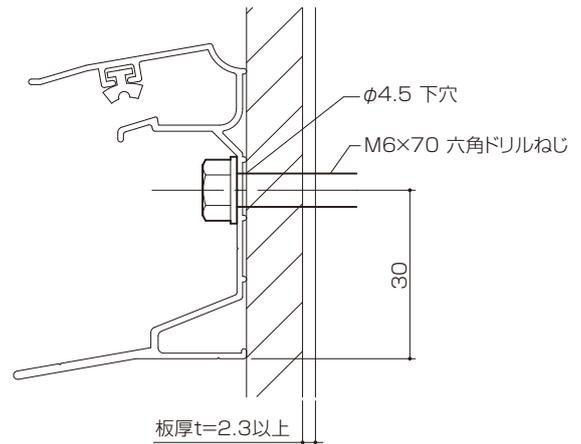
●φ6.4mmの下穴をあけ、切粉を除去し、取付けてください。



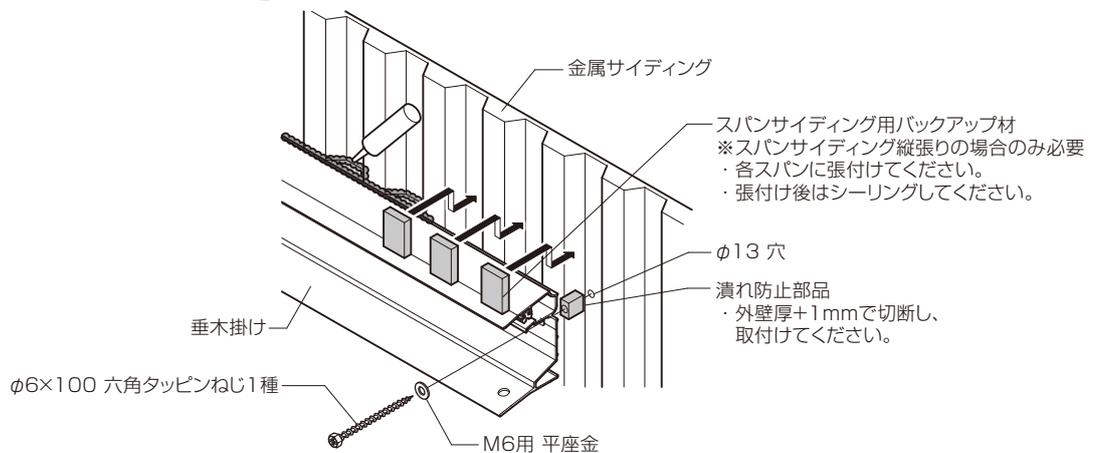
※同梱の袋ナットを使用する場合、埋め込み深さを調整し、ピンを切断して取付けてください。

【軽量鉄骨構造の場合】

●鉄骨の板厚が2.3mm以上あることを確認し、取付けてください。
 ●締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。



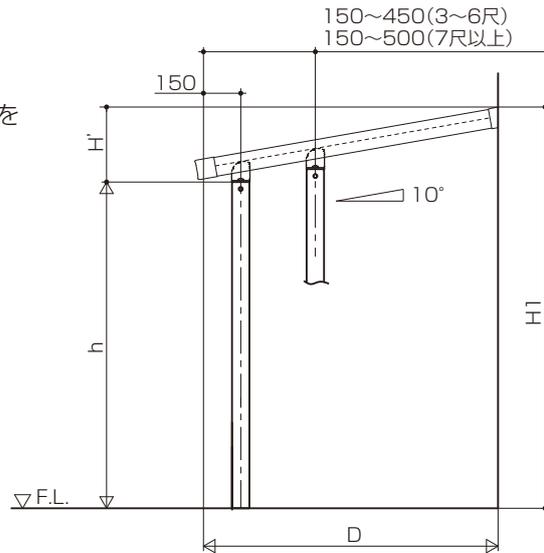
【金属サイディングへの取付け】



※固定ねじの締め込み過ぎにより、金属サイディングが潰れないようご注意ください。

2 柱の寸法出し

- 柱の必要寸法は屋根形状・柱の移動距離によって異なります。
柱の必要寸法(h)=躯体高さ(H1)－H'は下表を参照してください。
- ※ テラスの柱の必要長さは、h+基礎埋込み寸法になります。
- ※ 出幅切詰めする場合、H'は下表の寸法から、切詰めた値×tan10°を引いたものを使用してください。(tan10°=0.176)



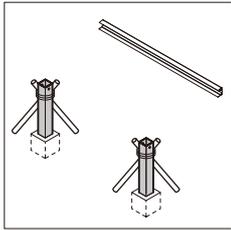
■ H'寸法

柱移動距離	600タイプ																				
	1.0間(2000)~2.0間(4000)								2.5間通し(5000)								3.0間通し				
	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R
150	267	320	373	426	524	577	629	312	365	418	471	549	602	654	337	390	443	496	569	622	674
200	258	311	364	417	515	568	620	303	356	409	462	540	593	645	328	381	434	487	560	613	665
250	249	302	355	408	506	559	611	294	347	400	453	531	584	636	319	372	425	478	551	604	656
300	241	294	347	400	498	551	603	286	339	392	445	523	576	628	311	364	417	470	543	596	648
350	232	285	338	391	489	542	594	277	330	383	436	514	567	619	302	355	408	461	534	587	639
400	223	276	329	382	480	533	585	268	321	374	427	505	558	610	293	346	399	452	525	578	630
450	214	267	320	373	471	524	576	259	312	365	418	496	549	601	284	337	390	443	516	569	621
500	-	-	-	-	462	515	567	-	-	-	-	487	540	592	-	-	-	-	507	560	612

柱移動距離	1500タイプ							
	1.0間(2000)~2.0間(4000)				2.5間通し(5000)			
	3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
150	337	390	443	496	357	410	463	516
200	328	381	434	487	348	401	454	507
250	319	372	425	478	339	392	445	498
300	311	364	417	470	331	384	437	490
350	302	355	408	461	322	375	428	481
400	293	346	399	452	313	366	419	472
450	284	337	390	443	304	357	410	463
500	-	-	-	-	-	-	-	-

③柱の位置決め

【柱を基礎で固定する場合】

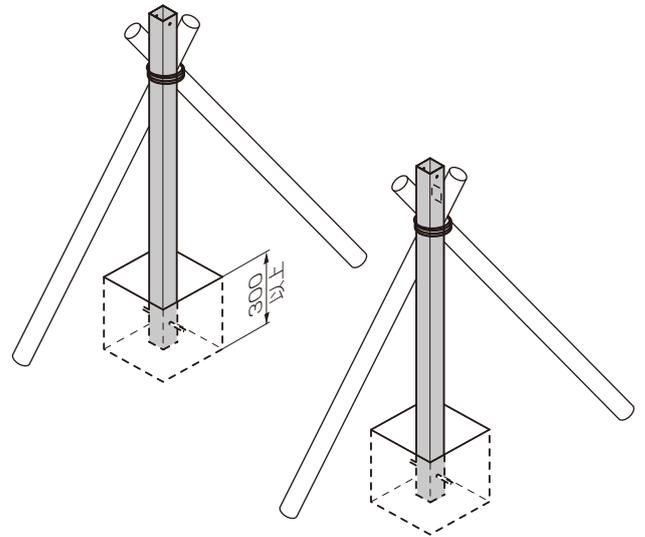


- 柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。
参考)柱埋込み位置：寸法図(P8~9)
基礎サイズ表：構造説明図(P6~7)
- 柱が倒れないように仮固定してください。

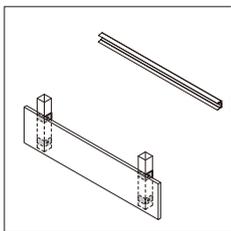
お願い

※注意ラベルが必ず建物側にくるように設置してください。

注意ラベル



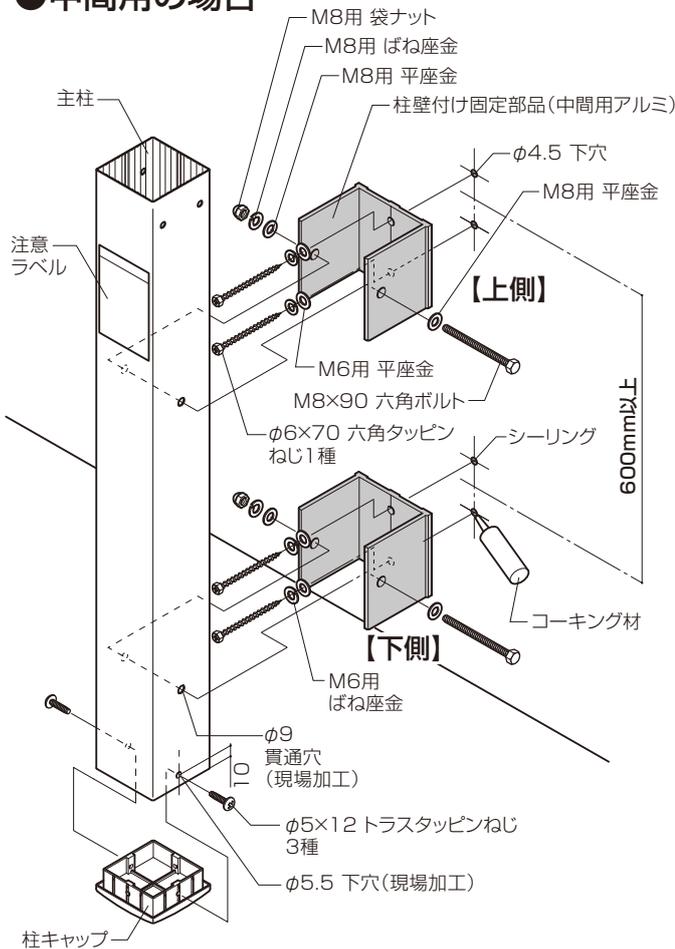
【柱を造付けバルコニーで固定する場合】



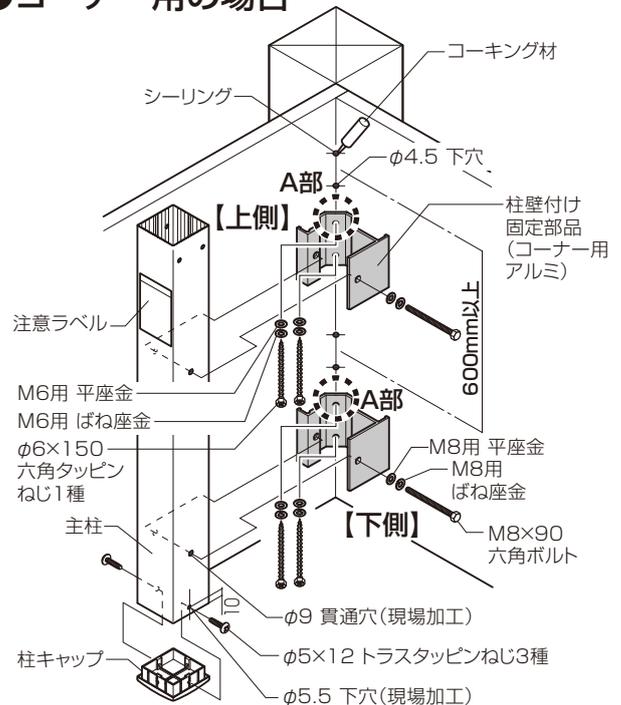
お願い

※注意ラベルが必ず建物側にくるように設置してください。
※固定部品の間は600mm以上あけてください。

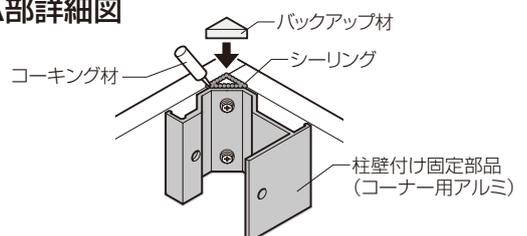
●中間用の場合



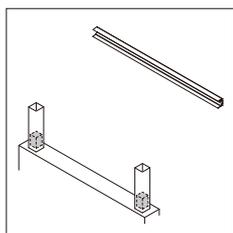
●コーナー用の場合



■A部詳細図

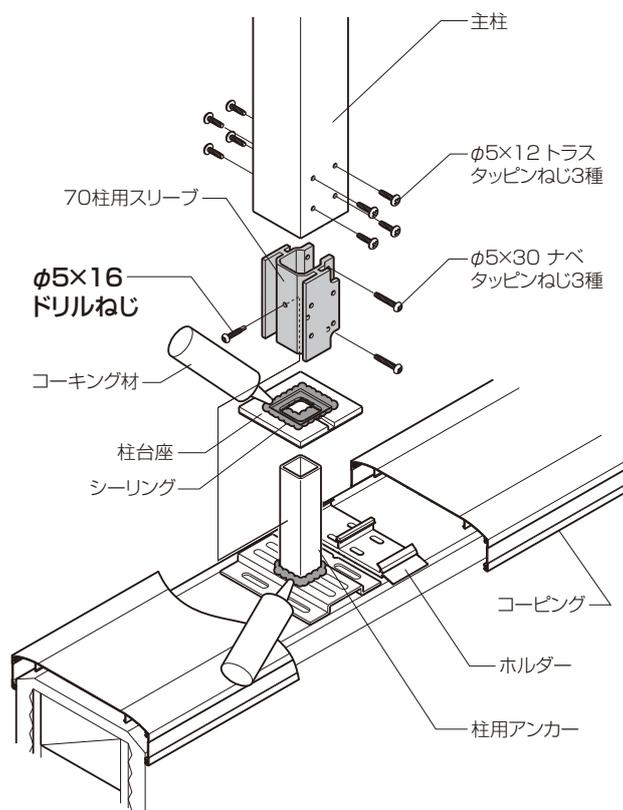
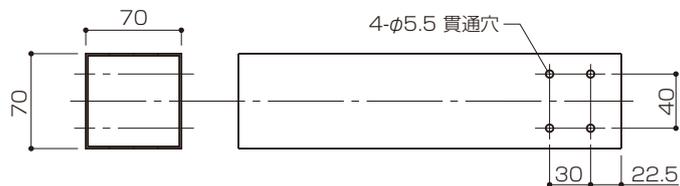


【コーピング納まりの場合】

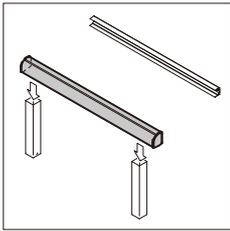


- コーピングにアンカーの貫通穴(φ35mm)をあけ、取付けてください。

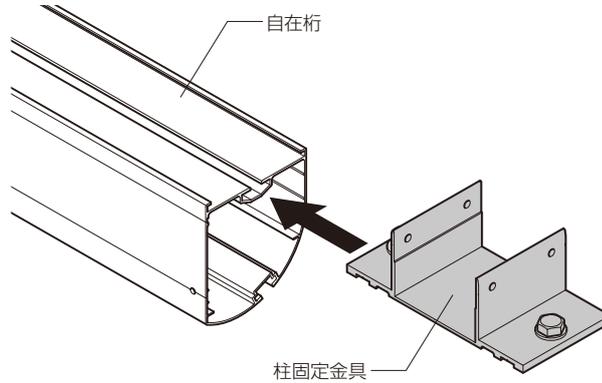
●柱加工図



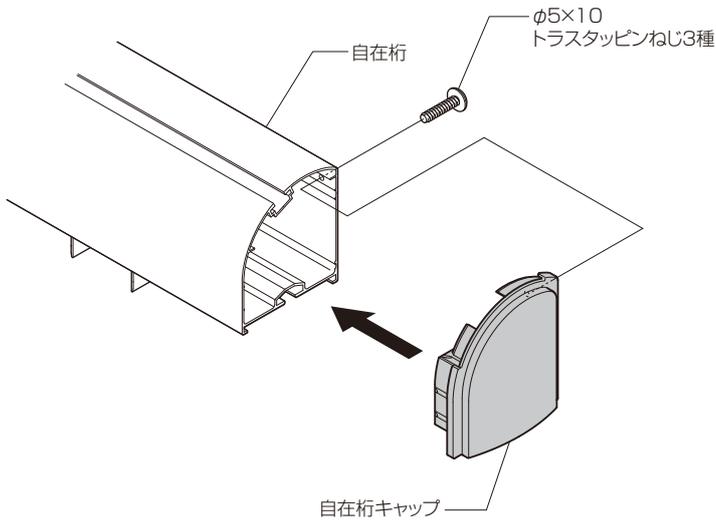
4 柱-自在桁・自在桁キャップの取付け



① 柱固定金具の取付け

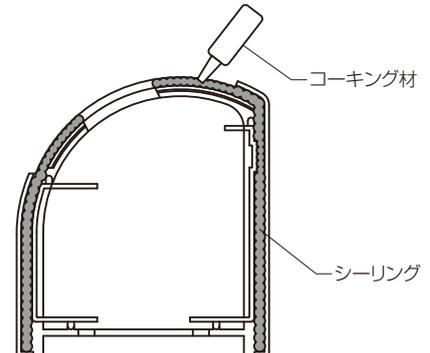


② 自在桁キャップの取付け

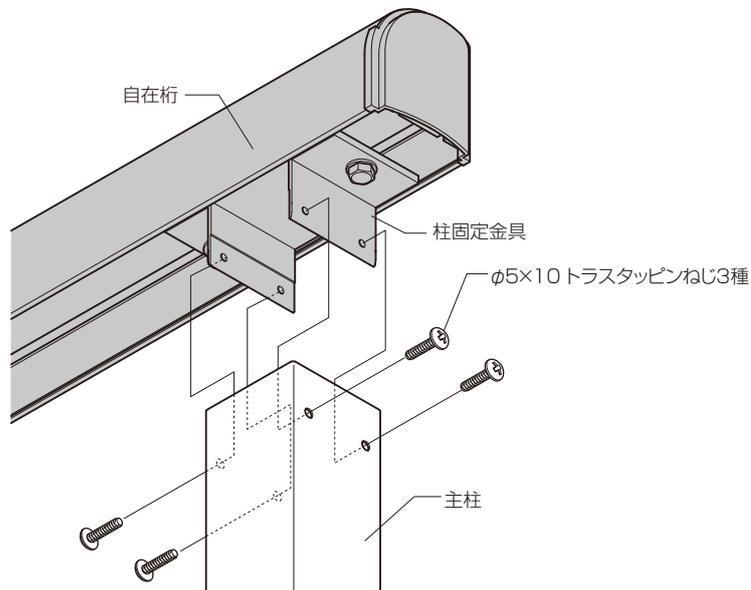


■ 自在桁キャップシーリング個所

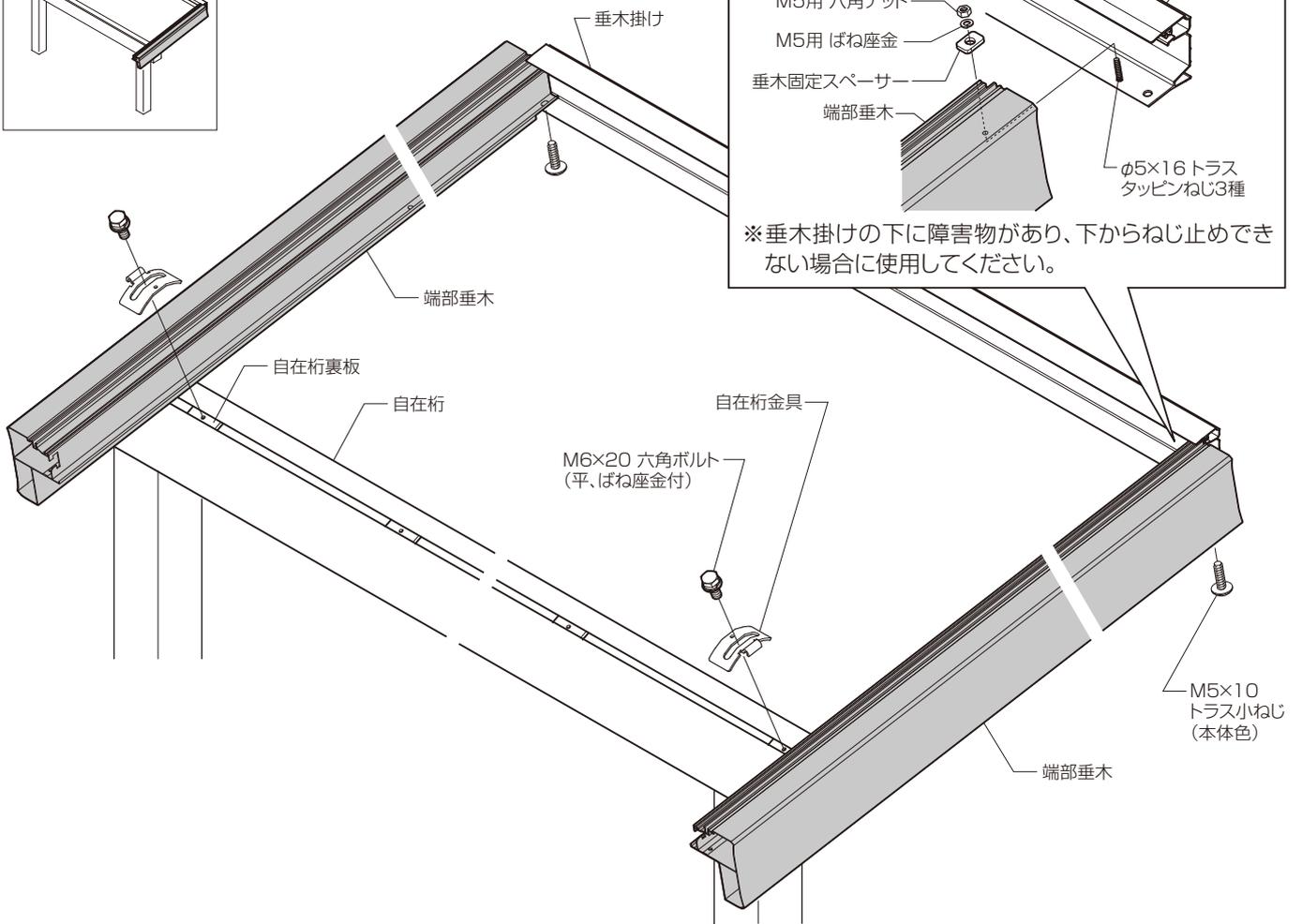
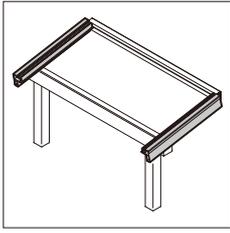
※自在桁にのみ込ませる部分にコーキング材を充てんしてください。下部は必要ありません。



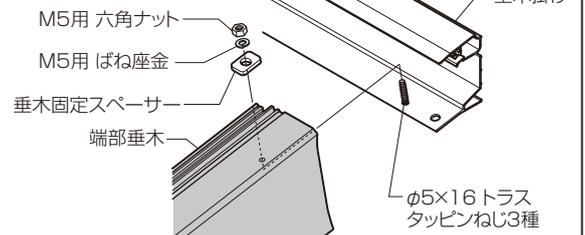
③ 柱の取付け



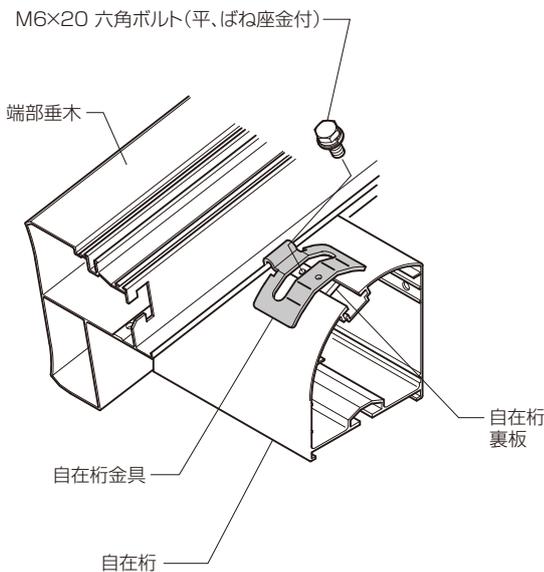
5 端部垂木の取付け



■垂木取付け部品を使用する場合



※垂木掛けの下に障害物があり、下からねじ止めできない場合に使用してください。



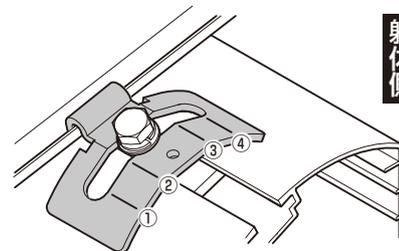
🔑ポイント

●ボルト位置を刻印②と③の間で調節し、自在桁金具を取付けてください。

※垂木がずれるおそれがありますので、ボルト位置は刻印②、③の外側にならないようにしてください。

前
側

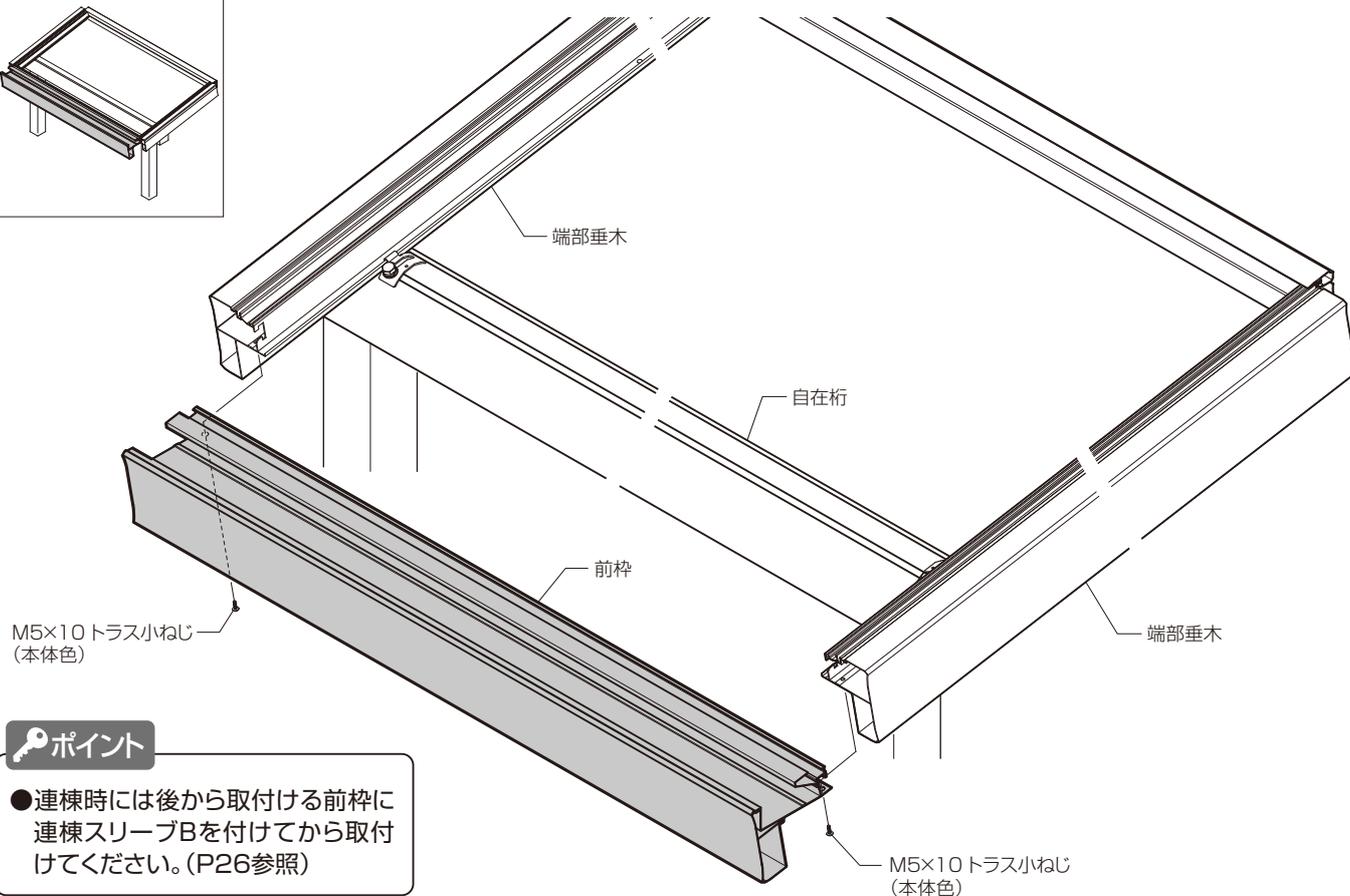
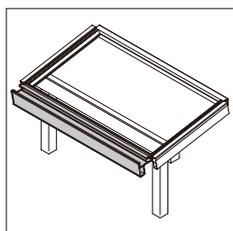
軀
側



●自在桁金具と自在桁のすき間がなくなるまでボルトを締め込んでください。



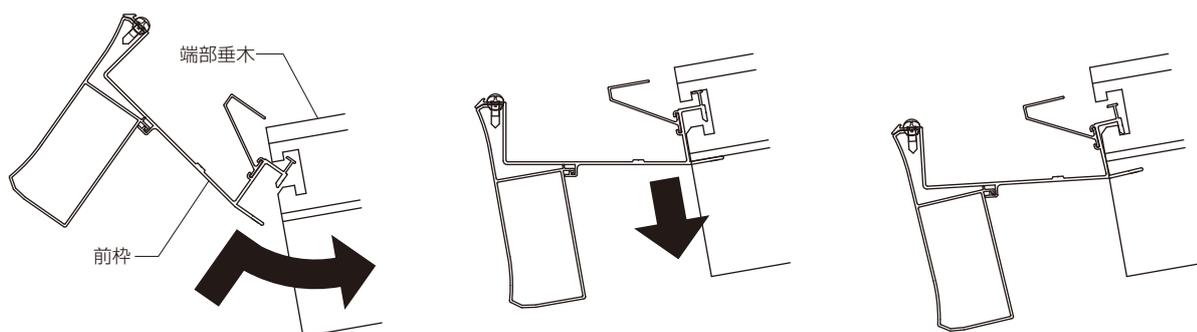
6 前枠の取付け



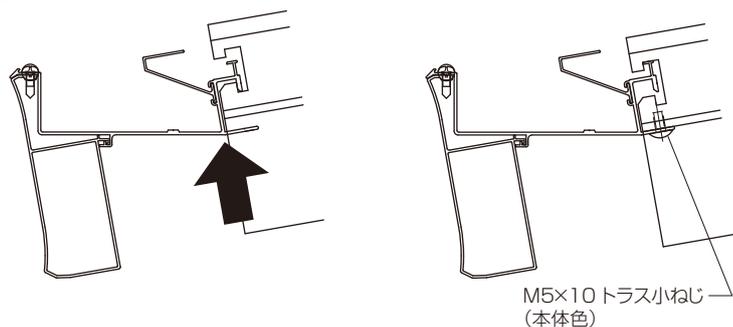
ポイント

- 連棟時には後から取付ける前枠に連棟スリーブBを付けてから取付けてください。(P26参照)

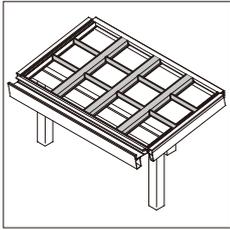
■ 前枠の仮置き方法



■ 前枠の固定方法

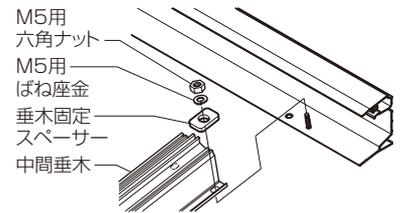
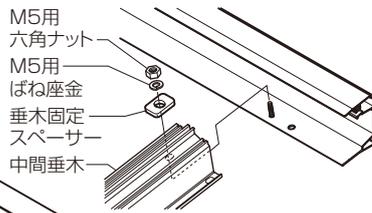


7 垂木-野縁の取付け

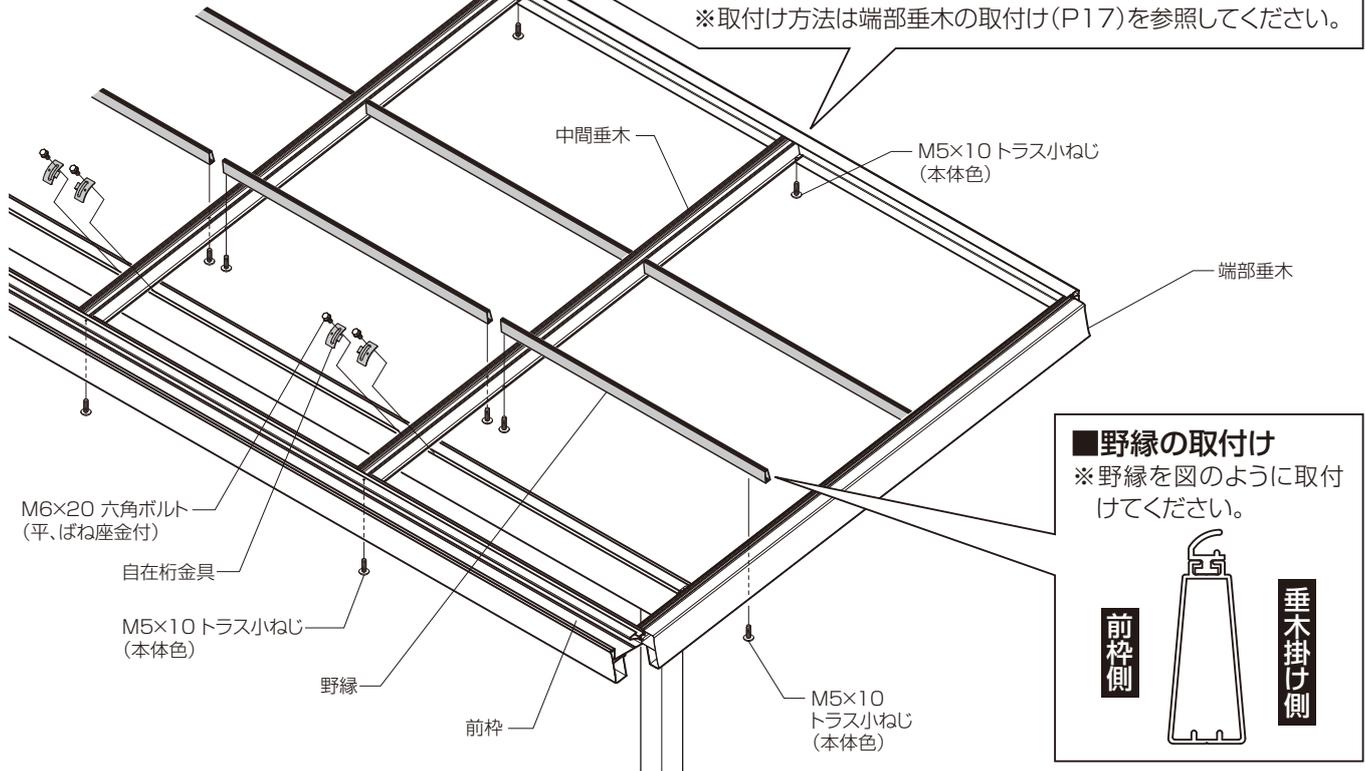


■垂木取付け部品を使用する場合

穴とねじの位置にあわせ、垂木の左右どちらかの長穴を使用してください。



※取付け方法は端部垂木の取付け(P17)を参照してください。

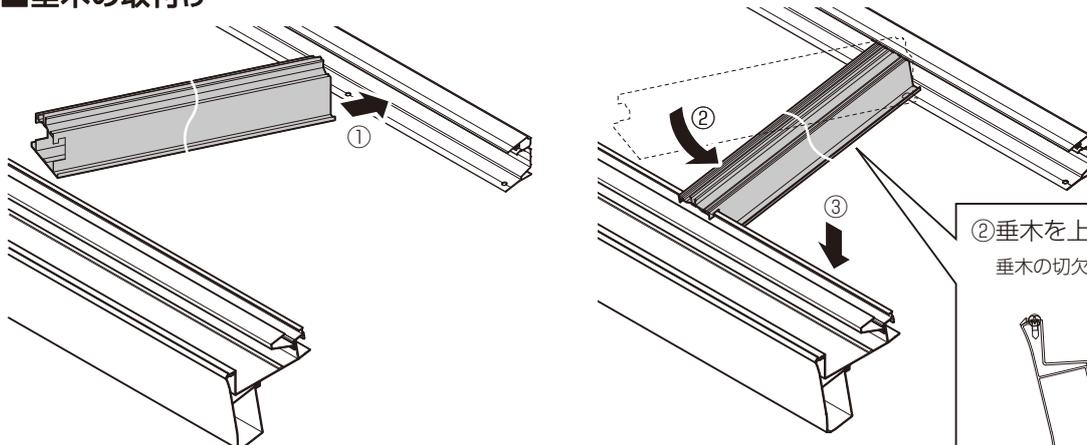


■野縁の取付け

※野縁を図のように取付けてください。



■垂木の取付け

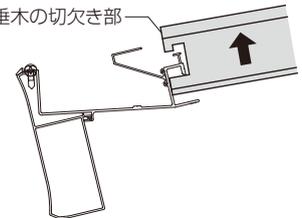


◆ポイント

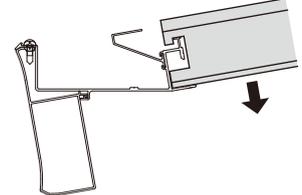
- 垂木を横に動かす場合、必ず垂木の前枠側を持ち上げてから動かすようにしてください。
- 取付けの際には垂木の切欠きを前枠にしっかり掛けて取付けてください。

②垂木を上を持ち上げスライド

垂木の切欠き部



③取付け位置で下におろす



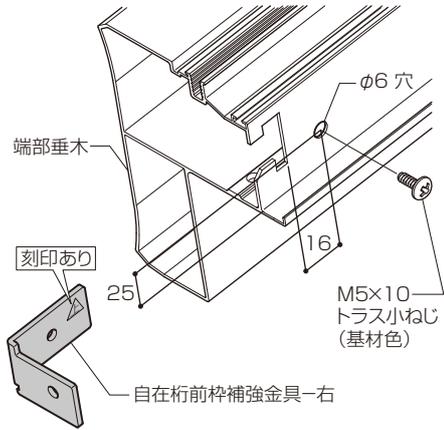
※垂木取付け後に自在桁と垂木にガタツキがないことを確認してください。

【自在桁前柵補強金具の取付け】

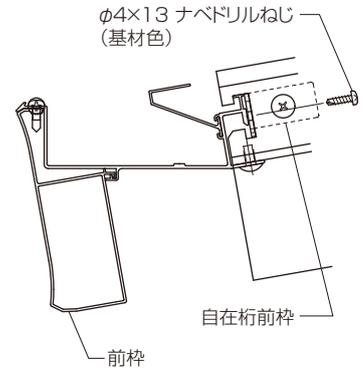
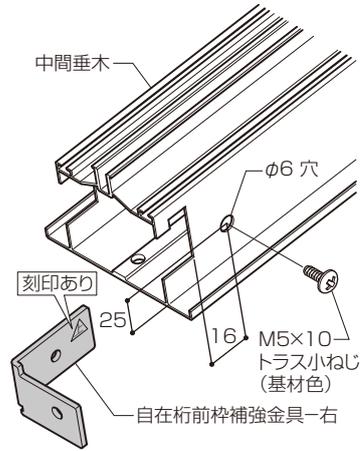
※1500タイプの場合、垂木に穴をあけて、自在桁前柵補強金具を取付けてください。

※自在桁前柵補強金具には左右があります。

●端部垂木の場合



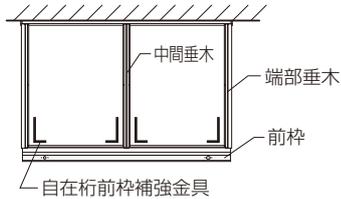
●中間垂木の場合



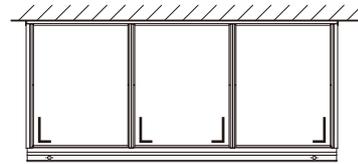
■自在桁前柵補強金具の取付け位置

※連棟タイプは単体と単体を合わせた形になります。

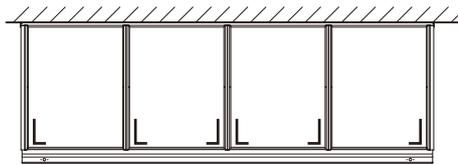
●1.0間



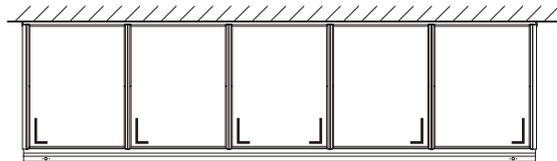
●1.5間



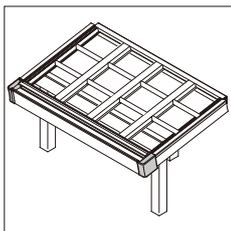
●2.0間



●2.5間通し

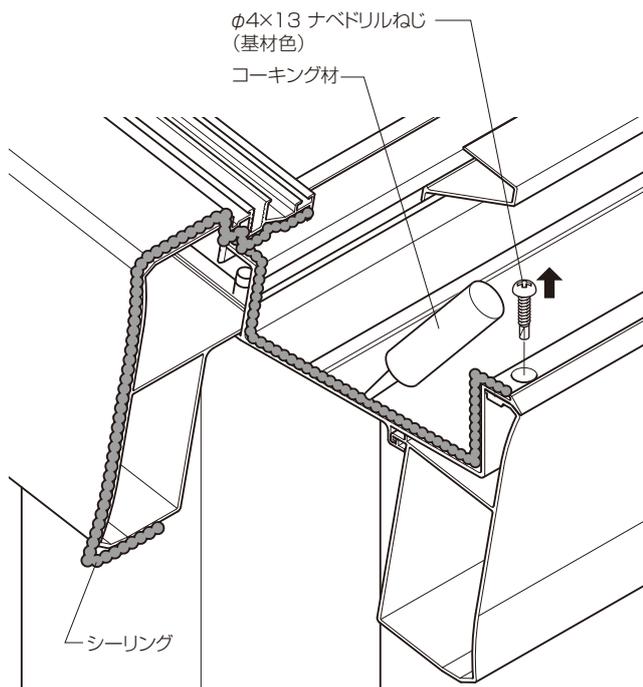


8 前枠キャップの取付け

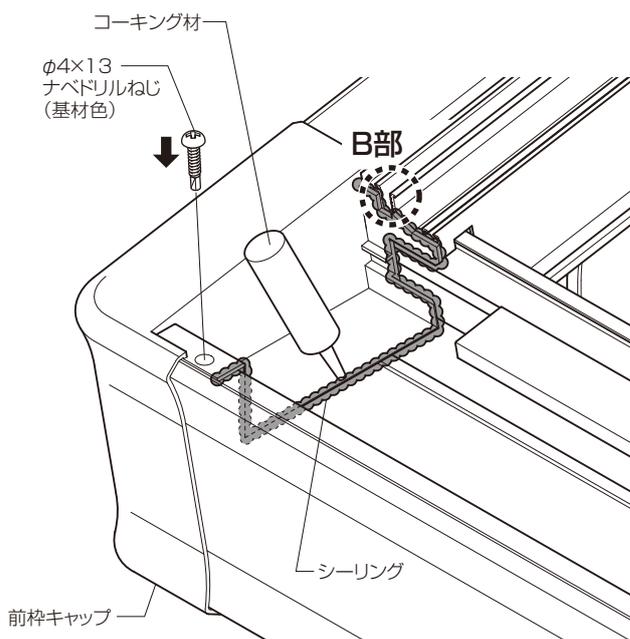


- 前枠および端部垂木にシーリングをした後、キャップを取付けます。
キャップ取付け後、さらに樋内部にシーリングしてください。

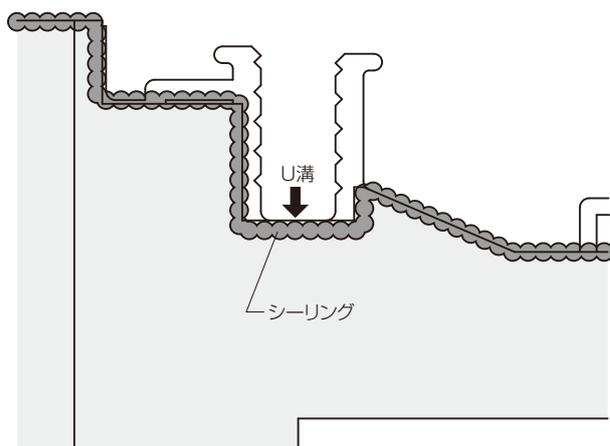
①前枠の組立てねじ(φ4×13 ナベドリねじ)の端部から1本目を外し、前枠および端部垂木にシーリングしてください。



②前枠キャップ取付け後、外したねじでキャップと前枠を固定し、樋内部にシーリングしてください。



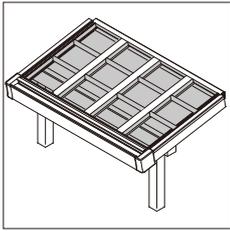
■B部詳細図



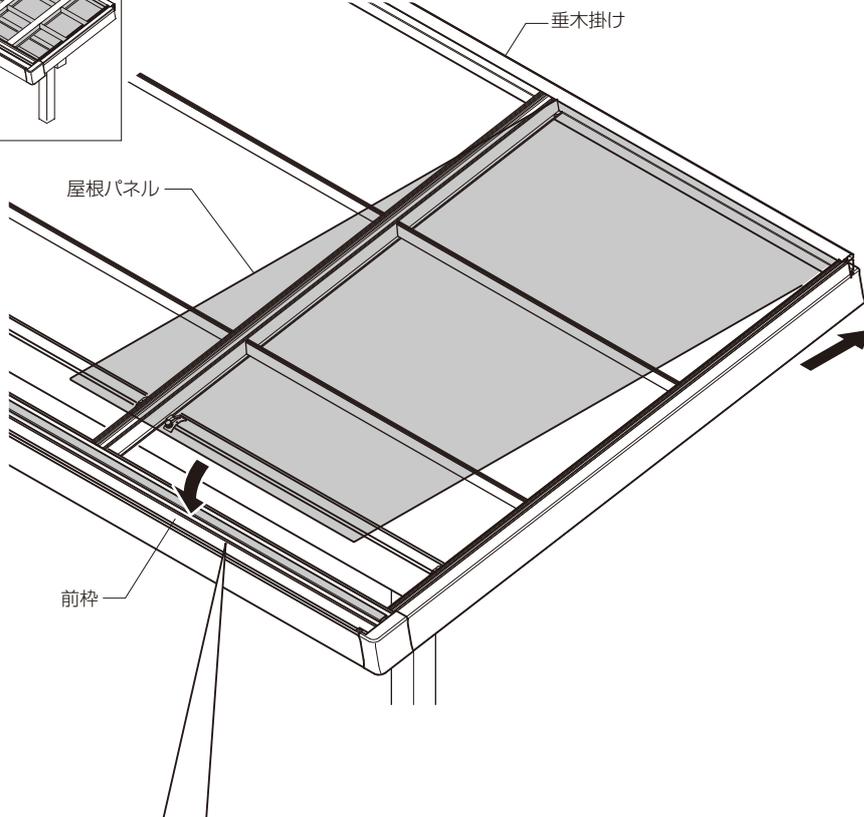
🔑ポイント

- 端部垂木とキャップにすき間がないようにシーリングしてください。
またU溝はシーリングで埋まらないようにしてください。

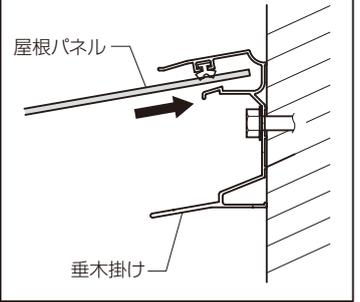
9 屋根パネルの取付け



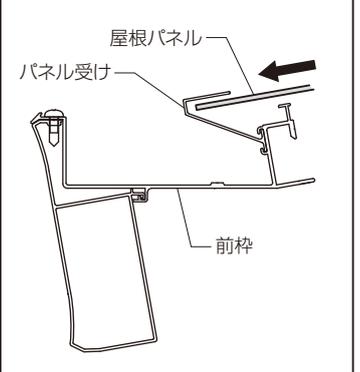
※屋根パネルは表裏を確認して取付けてください。
 ※取付け作業後、養生シートをはがしてください。



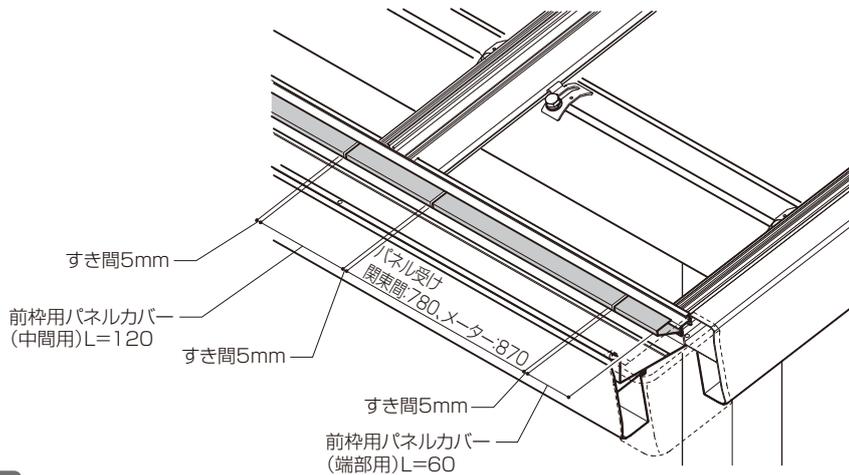
■垂木掛け側



■前枠側

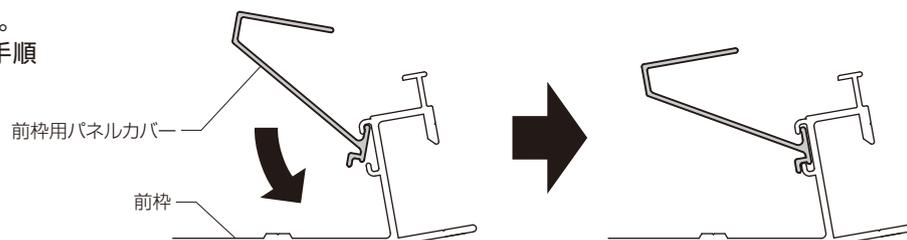


●前枠のパネル受け・パネルカバーを下記の通り配置しながら、屋根パネルの取付けを行ってください。

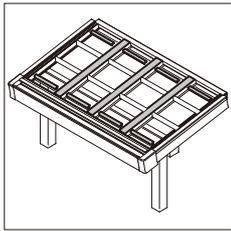


ポイント

- パネル受けはスライドして位置を合わせてください。
- パネルカバーは右記の手順で取付けてください。

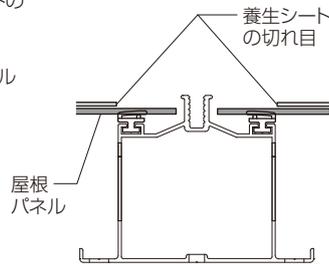
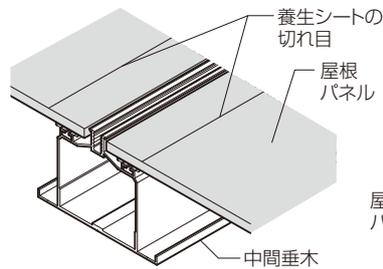


10 垂木カバー・後付けビードの取付け

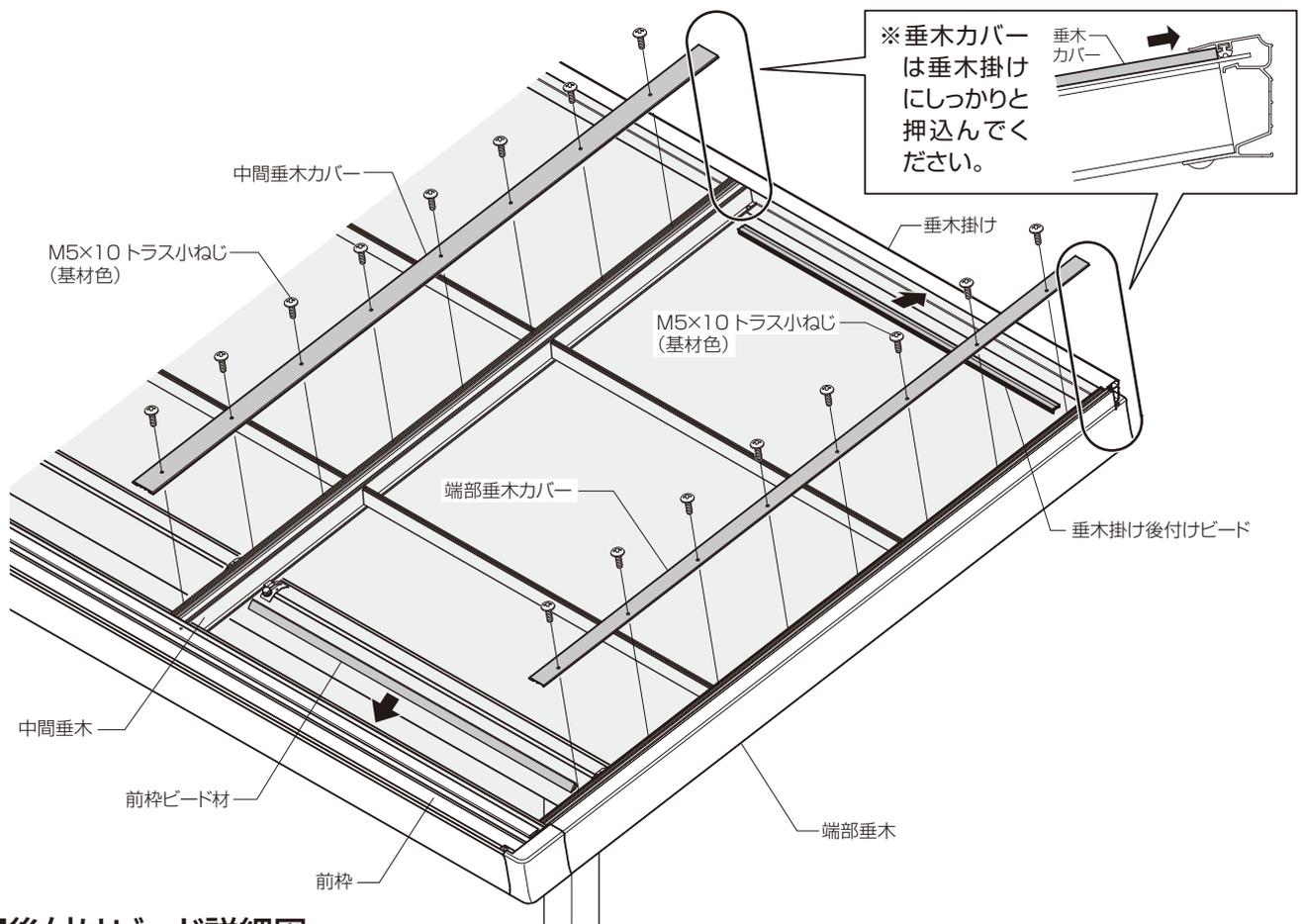
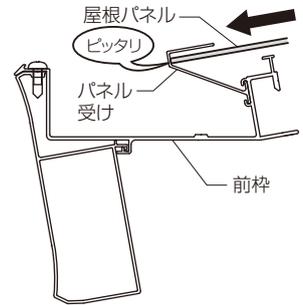


ポイント

● 屋根パネルは左右のみ込み(かかり代)を均等にして取付けてください。

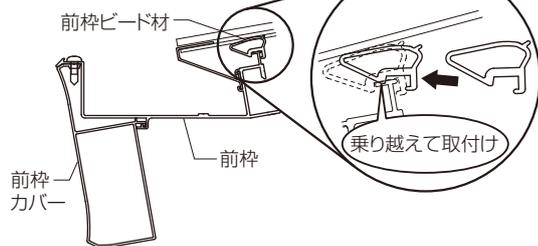


● 屋根パネルを必ずパネル受けに当たるまで引き寄せてください。



後付けビード詳細図

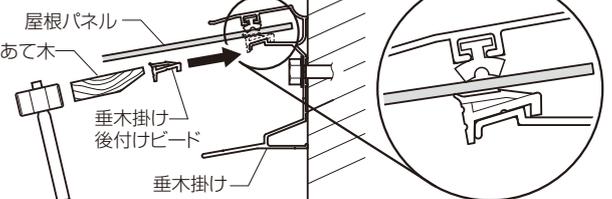
● シュエット前枠



ポイント

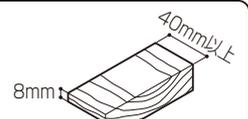
● 前枠フィン部を乗り越えて取付けます。

● 垂木掛け

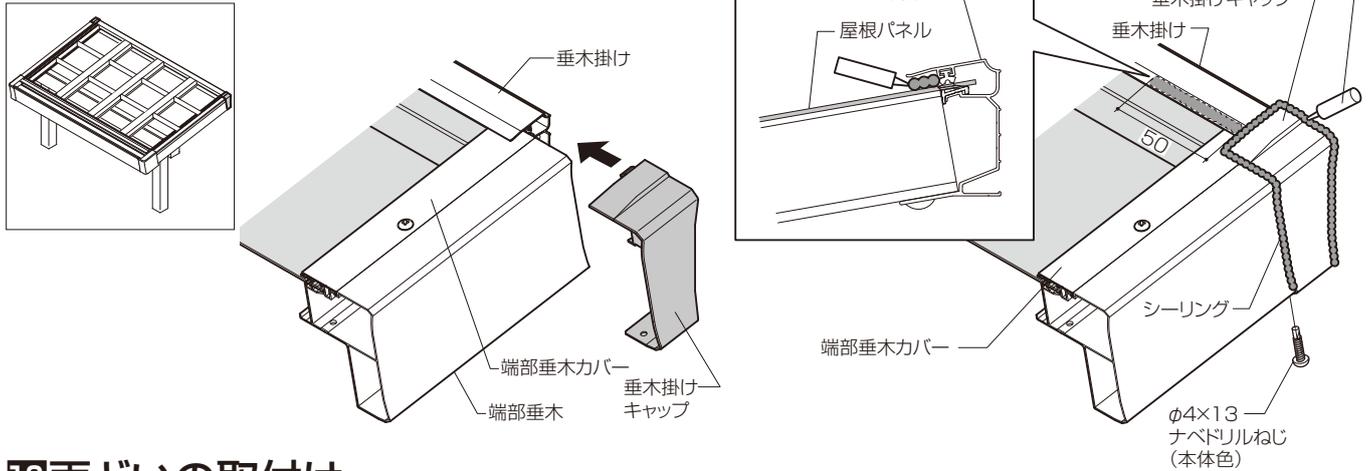


ポイント

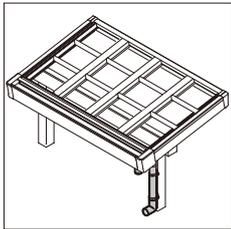
● 垂木掛け後付けビードは図のようなあて木を使用すると、挿入しやすくなります。



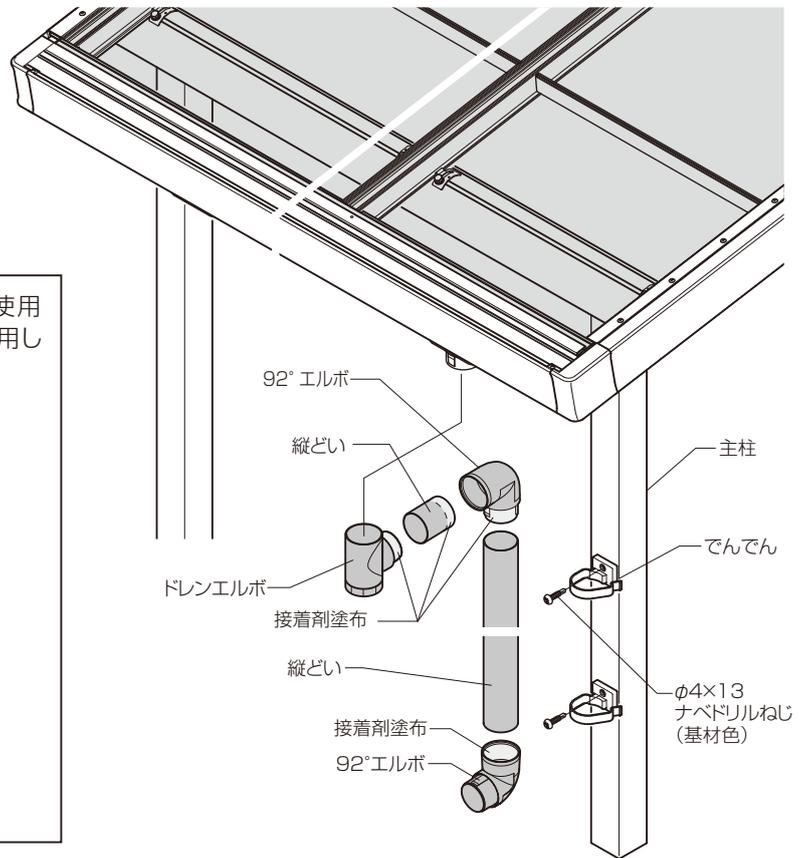
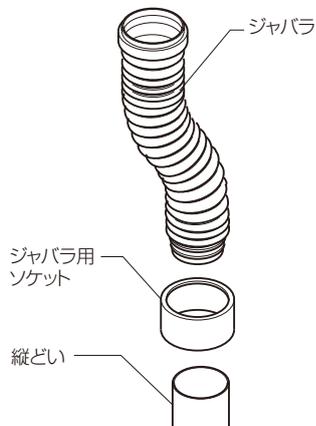
11 垂木掛けキャップの取付け



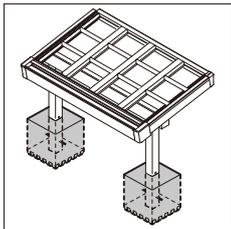
12 雨どいの取付け



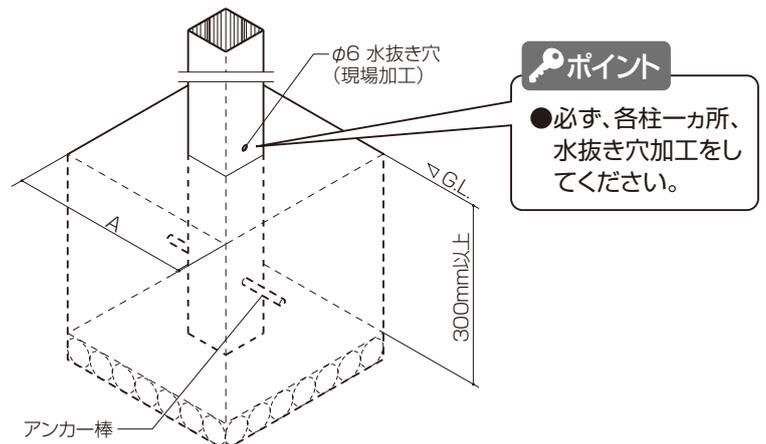
※柱移動によりドレンエルボが使用できない場合はジャバラを使用してください。



13 柱(基礎)



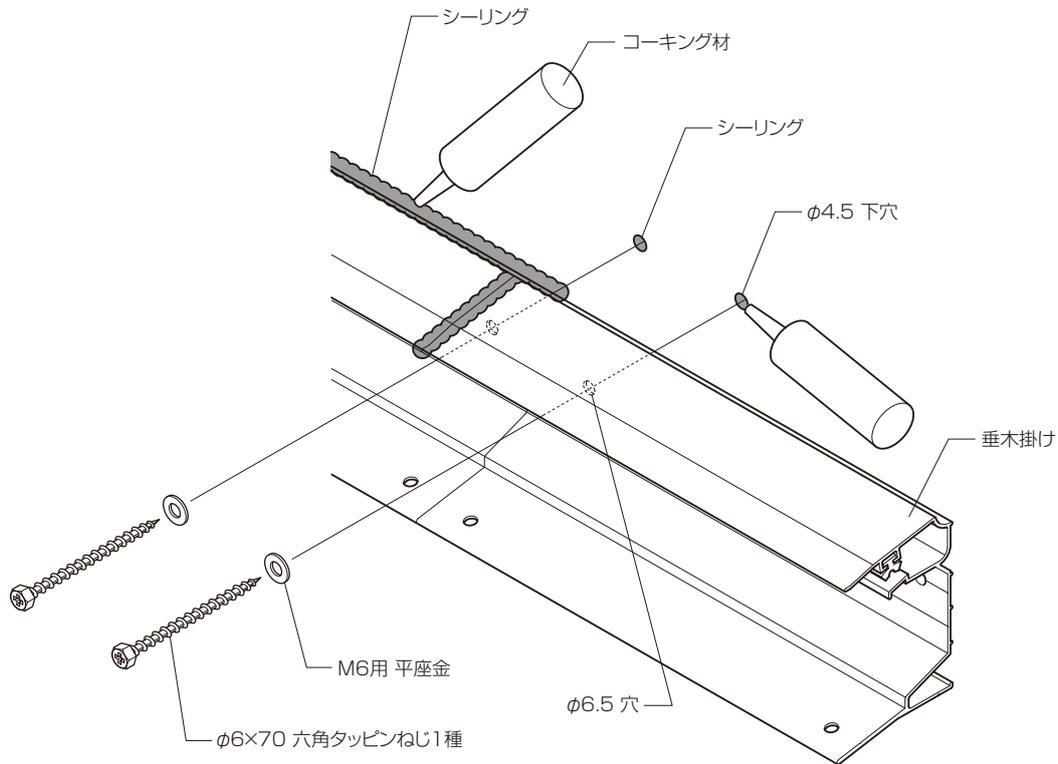
- 図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリートで埋めてください。
- ※ A寸法は構造説明図(P6～P7)をご確認ください。
- ※ 基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。



連棟タイプの場合

1 垂木掛けの取付け

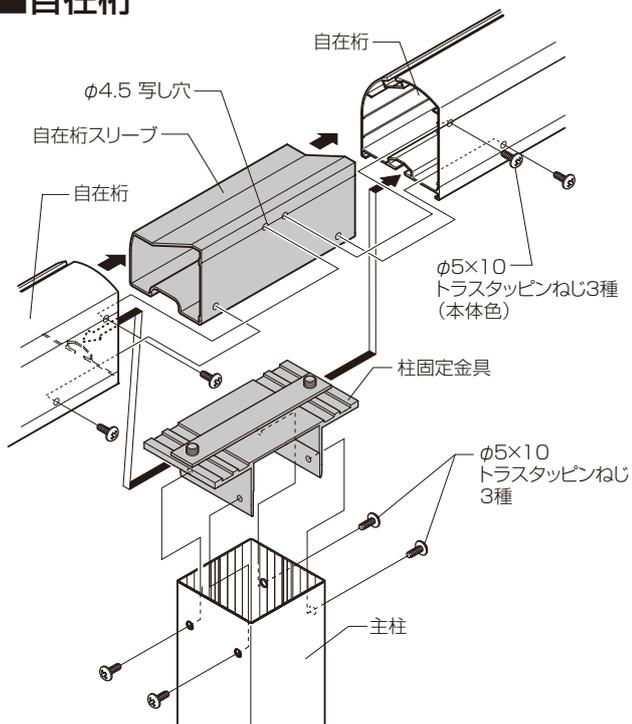
● 躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。



2 前枠・自在桁・垂木掛け連結部の組立て

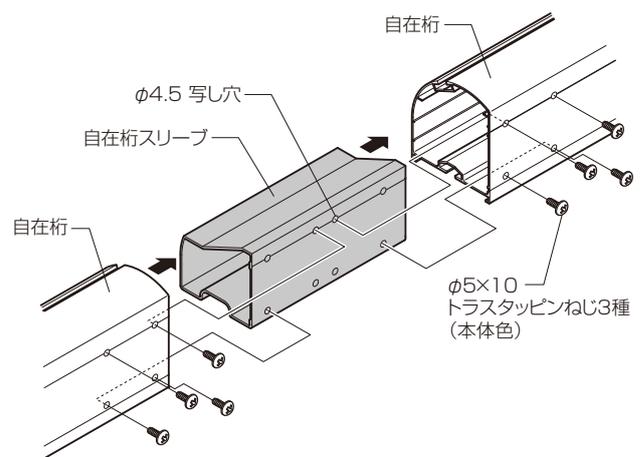
※ 部材の加工についてはP11を参照してください。

■ 自在桁



【連棟部に柱が取付かない場合】

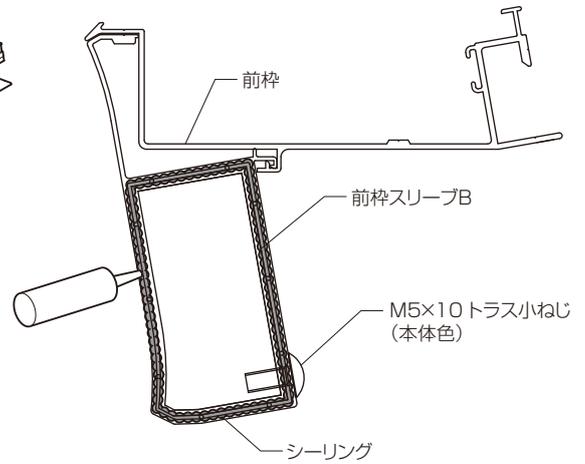
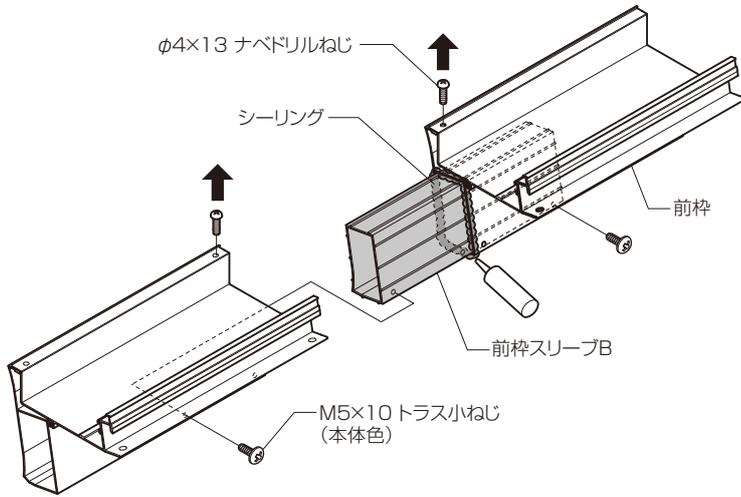
● 自在桁スリーブをねじ8本で固定してください。



■前枠

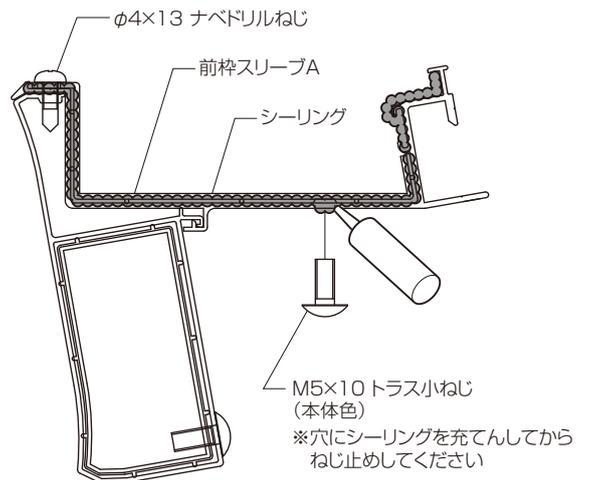
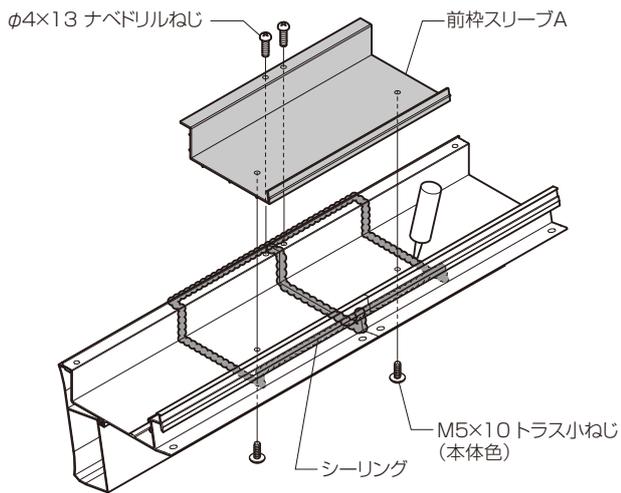
①前枠と前枠スリーブBを取付けます。

※前枠連結部の $\phi 4 \times 13$ ナベドリルねじを外してください。

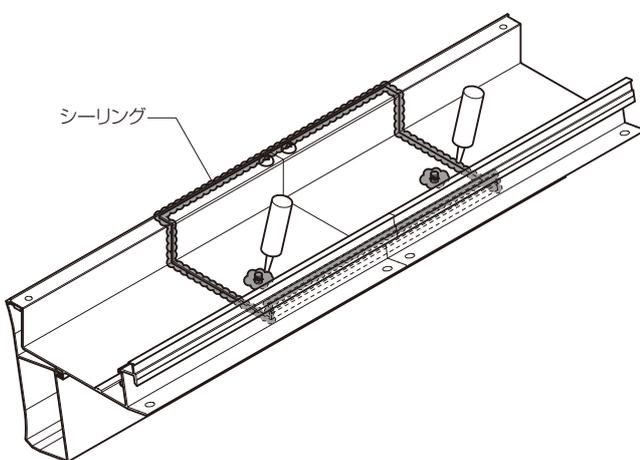


②前枠と前枠スリーブAを取付けます。

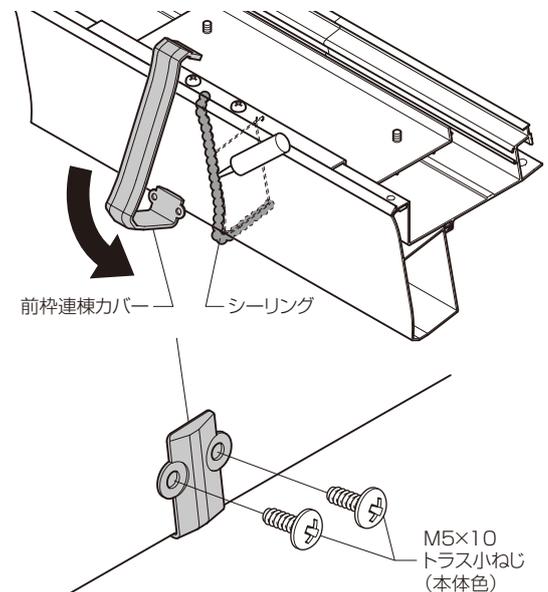
※①で外したねじで共締めしてください。



③樋内部にシーリングをしてください。



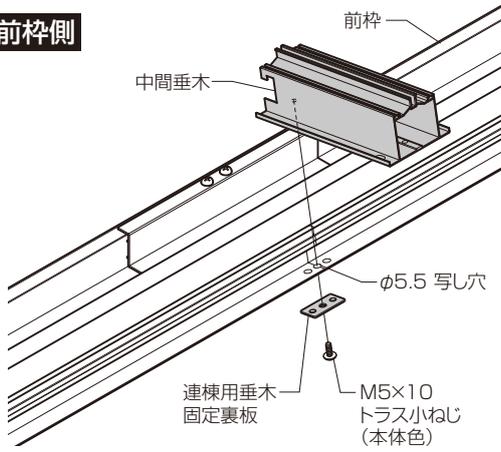
④前枠連棟カバーを取付けます。



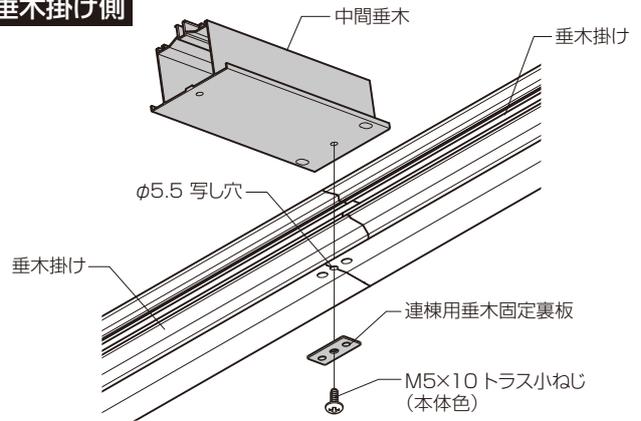
■ 中間垂木

●裏板に合わせて写し穴をあけて、裏板を共締めしてください。

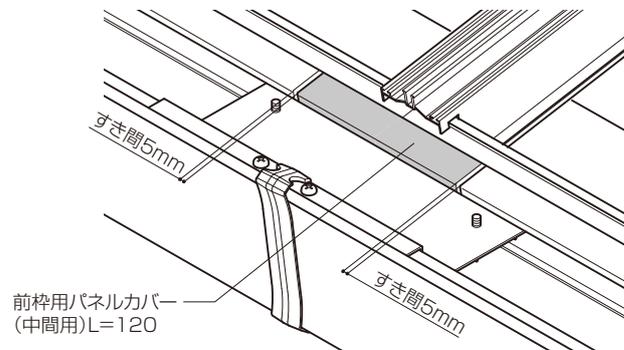
■ 前枠側



■ 垂木掛け側



■ パネルカバー

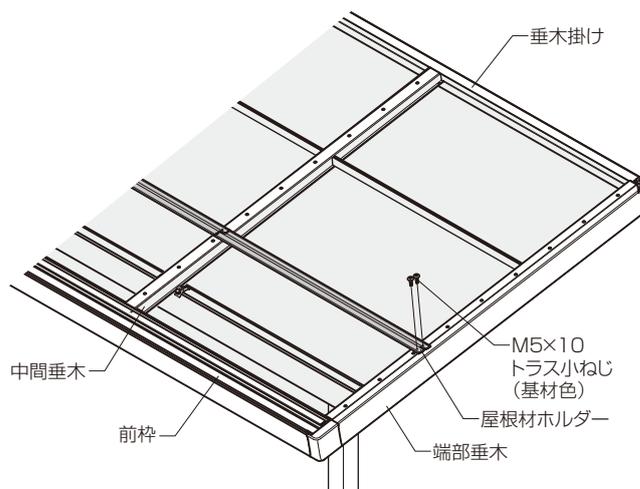
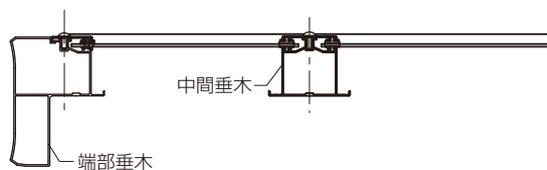
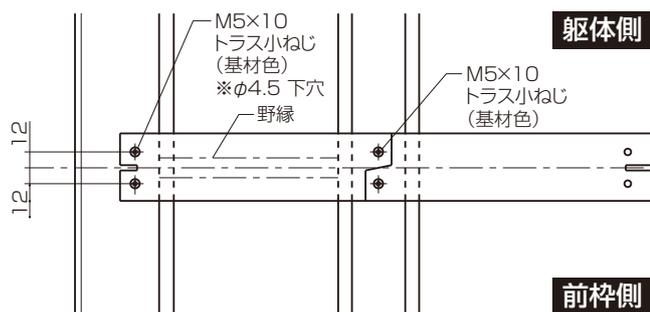
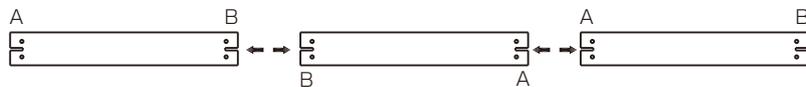


オプション 屋根材ホルダーの取付け

※パネル1枚につき1本必要になります。

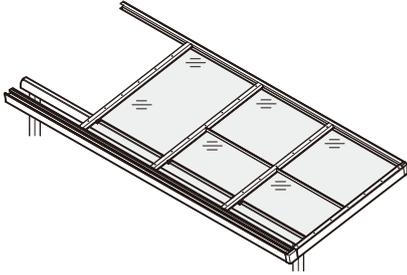
※野縁の上に取り付けてください。

(5尺以上は前枠側の野縁の上に取り付けてください。)

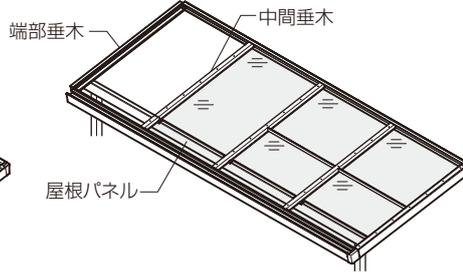


オプション 1スパン端部下止めタイプの取付け詳細

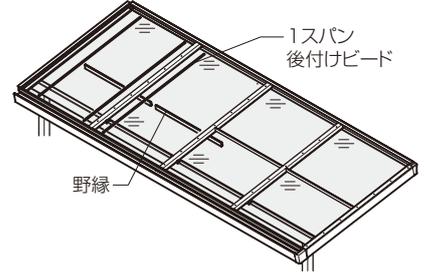
①上止め部の施工



②パネル・端部垂木の取付け



③1スパン後付けビード、野縁の取付け



■1スパン後付けビード切断寸法表

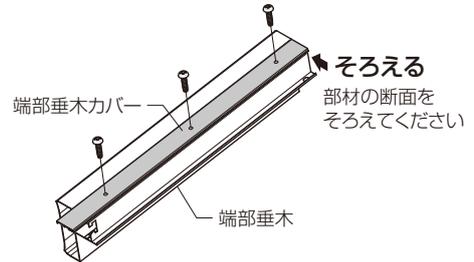
	F型屋根
3R	845
4R	1150
5R	1454
6R	1759
7R	2063

●端部垂木

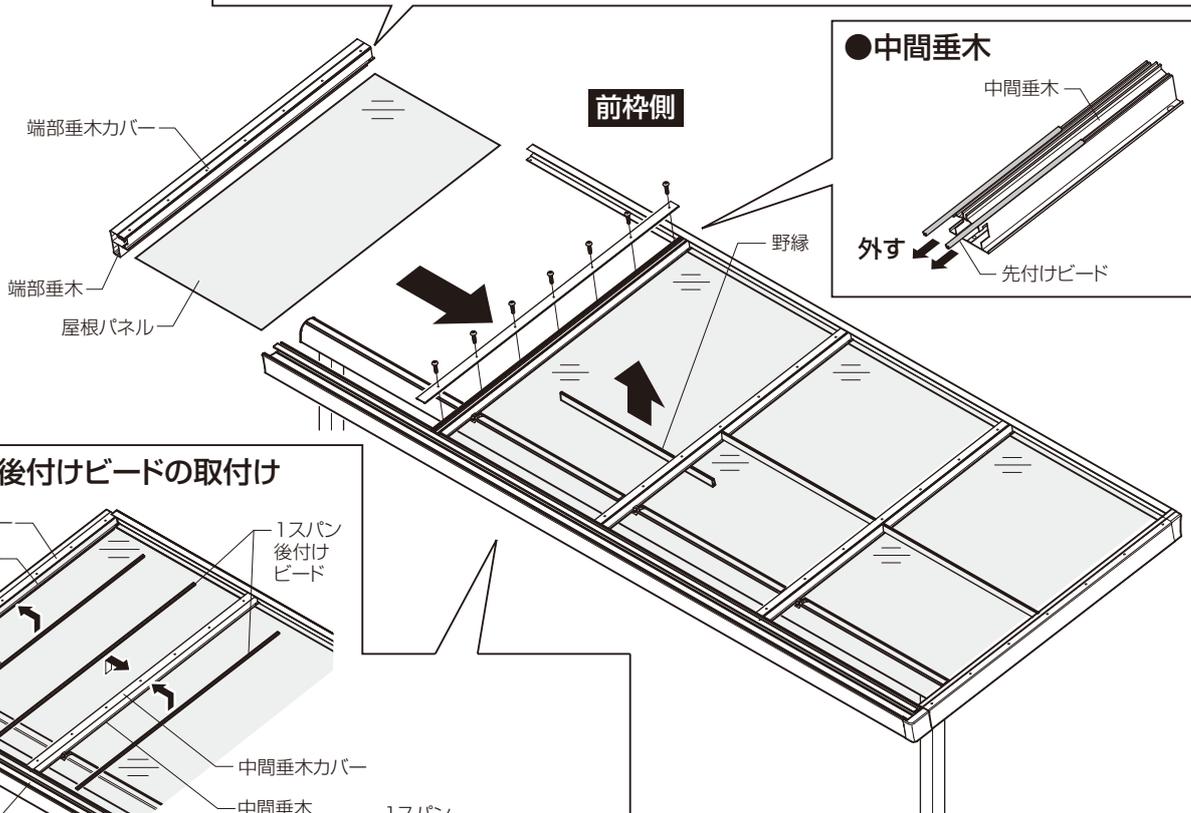
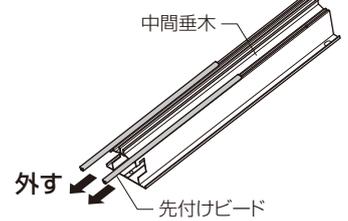
①1スパン端部下止めで施工する個所の中間・端部垂木の先付けビードを外します。



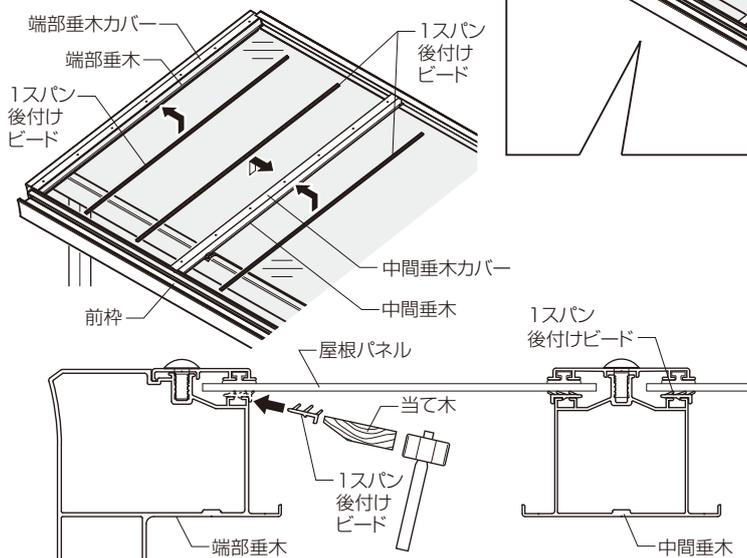
②1スパン端部下止め部の端部垂木は、あらかじめ端部垂木と端部垂木カバーを固定してください。



●中間垂木



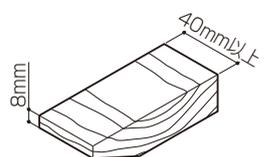
■1スパン後付けビードの取付け



※前枓・垂木掛後付けビードの取付けについては、P23を参照してください。

ポイント

●1スパン後付けビードは図のようなあて木を使用すると、挿入しやすくなります。



梱包明細表

●柱セット

名 称	略 図	員 数					
		主 柱			中 間 柱		
		テラス用		造付け屋根用	テラス用		造付け屋根用
長尺	自在桁長尺	長尺	自在桁長尺				
主柱		2	2	2	1	1	1
縦どい(L=2200)		-	-	-	-	-	-
縦どい(L=2450)		-	-	1	-	-	1
縦どい(L=3100)		1	1	-	1	1	-
柱固定金具		2	2	2	1	1	1
アンカー棒		2	2	-	1	1	-
φ5×10 トラスタッピンねじ3種	-	8	8	8	4	4	4
取扱い説明書	-	1	1	1	-	-	-

●造付け屋根取付け部品セット

名 称	略 図	員 数			名 称	略 図	員 数		
		中 間 用		コ ー ナ ー 用			中 間 用		コ ー ナ ー 用
		1本用	2本用	1本用			1本用	2本用	1本用
柱壁付け固定部品 (中間用アルミ)		2	4	-	M8×90 六角ボルト	-	2	4	2
					M8用 平座金	-	4	8	2
					M8用 ばね座金	-	2	4	2
柱壁付け固定部品 (コーナー用アルミ)		-	-	2	M8用 袋ナット	-	2	4	-
					φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	4	8	-
					φ5×12 トラスタッピンねじ3種	-	2	4	2
柱キャップ		1	2	1	M6用 平座金	-	4	8	4
					M6用 ばね座金	-	4	8	4
					φ6×150 六角タッピンねじ1種	-	-	-	4
バックアップ材		-	-	2	取付け説明書	-	1	1	1

●長さセット(600タイプ)

名 称	略 図	員 数														
		3~6尺					7・8尺					9尺				
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000	3.0間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛けA		1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
垂木掛けB		-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け後付けビード		2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	4	6	8	10	12
前枠ビード材		2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	4	6	8	10	12
縦どい(L=1100)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

●長さセット(1500タイプ)

名 称	略 図	員 数			
		3~6尺			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
前枠		1	1	1	1
垂木掛けB		1	1	1	1
垂木掛け後付けビード		2	3	4	5
前枠ビード材		2	3	4	5
縦どい(L=1100)		1	1	1	1

●野縁セット

名 称	略 図	員 数										
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	8本入	9本入	10本入	12本入	15本入	18本入
野縁A		2	3	4	5	6	8	9	10	12	15	18

●野縁セット(ハーフセット用)

名 称	略 図	員 数				
		8本入	12本入	16本入	20本入	24本入
野縁A		8	12	16	20	24

●野縁Bセット

名 称	略 図	員 数						
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	8本入	10本入
野縁B		2	3	4	5	6	8	10

●自在桁セット(600タイプ)

名 称	略 図	員 数														
		3~6尺					7-8尺					9尺				
		1.0間 2000	1.5間 3000	2.0間 4000	2.5間 5000	3.0間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
自在桁A		1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自在桁B		-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	1	1	1	-	
自在桁C		-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
自在桁D		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
自在桁金具		4	6	8	10	12	4	6	8	10	12	8	12	16	20	24
M6×20 六角ボルト(平座金付)	-	4	6	8	10	12	4	6	8	10	12	8	12	16	20	24

●自在桁セット(1500タイプ)

名 称	略 図	員 数			
		3~6尺			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
自在桁C		1	1	1	-
自在桁D		-	-	-	1
垂木取付け金具		4	6	8	10
自在桁前枠補強金具		LR各2	LR各2	LR各3	LR各3
M6×20 六角ボルト(平、ばね座金付)	-	4	6	8	10
φ4×13 ナベドリルねじ(基材色)	-	4	4	6	6
M5×10 トラス小ねじ(基材色)	-	4	4	6	6

●自在桁連結材セット

名 称	略 図	員 数	
		A-B 連結用	C-D 連結用
自在桁スリーブA・B用		1	-
自在桁スリーブC・D用		-	1
φ5×10 トラストピンねじ3種(本体色)	-	8	8

●自在桁端部部品セット

名 称	略 図	員 数			
		A用	B用	C用	D用
自在桁Aキャップ		LR各1	-	-	-
自在桁Bキャップ		-	LR各1	-	-
自在桁Cキャップ		-	-	LR各1	-
自在桁Dキャップ		-	-	-	LR各1
φ5×10トラスタッピンねじ3種	-	2	2	2	2

●中間垂木セット(3~6尺用)

名 称	略 図	員 数											
		3尺			4尺			5尺			6尺		
		1本入	2本入	3本入									
中間垂木F		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木カバー		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

●中間垂木セット(7~9尺用)

名 称	略 図	員 数								
		7尺			8尺			9尺		
		1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	2本入	3本入	
中間垂木F		1	2	3	1	2	3	2	3	
中間垂木カバー		1	2	3	1	2	3	2	3	

●端部垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	
端部垂木-右		1	1	1	1	1	1	1	
端部垂木-左		1	1	1	1	1	1	1	
端部垂木カバー		2	2	2	2	2	2	2	

●組立部品セット

名 称	略 図	員 数																			
		600/1500 タイプ				600タイプ				600/1500 タイプ				600タイプ				600タイプ			
		1.0間 2000				1.5間 3000				2.0間 4000				2.5間 5000				3.0間			
		34R	5-6R	7-8R	9R	34R	5-6R	7-8R	9R	34R	5-6R	7-8R	9R	34R	5-6R	7-8R	9R	34R	5-6R	7-8R	9R
垂木掛けキャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠キャップ-左		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠キャップ-右		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠用パネルカバー(中間用)		1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
前枠用パネルカバー(端部用)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雨どいアタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨どいパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	5	5	5	5	7	7	7	7	9	9	9	9	11	11	11	11	13	13	13	13
M6用 平座金	-	5	5	5	5	7	7	7	7	9	9	9	9	11	11	11	11	13	13	13	13
φ4×13 ナベドリねじ(本体色)	-	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4×13 ナベドリねじ(基材色)	-	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
M5×10 トラス小ねじ(基材色)	-	23	36	52	72	30	48	70	94	38	60	88	116	46	72	105	136	53	84	122	156
M5×10 トラス小ねじ(本体色)	-	11	15	19	28	15	22	28	41	19	28	37	55	24	35	46	68	28	41	55	81
取付け説明書	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

●組立部品セット(連棟)

名 称	略 図	員 数											
		600/1500 タイプ		600タイプ		600/1500 タイプ		600タイプ		600/1500 タイプ		600タイプ	
		1.0間 2000				1.5間 3000				2.0間 4000			
		3-4尺	5-6尺	7-8尺	9尺	3-4尺	5-6尺	7-8尺	9尺	3-4尺	5-6尺	7-8尺	9尺
前枠用パネルカバー(中間用)		2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4
前枠連棟カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠スリーブA		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠スリーブB		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨どいアタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨どいパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
連棟用垂木固定裏板		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
接着剤	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ6×70 六角タッピンねじ1種	-	5	5	5	5	7	7	7	7	9	9	9	9
M6用 平座金	-	5	5	5	5	7	7	7	7	9	9	9	9
φ4×13 ナベドリルねじ(基材色)	-	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
M5×10 トラス小ねじ(基材色)	-	15	24	35	44	23	36	52	66	30	48	70	88
M5×10 トラス小ねじ(本体色)	-	15	19	24	33	19	26	33	46	24	33	41	59

●オールアンカーセット

名 称	略 図	員数 10本入
M6×60 オールアンカー	-	10
M6用 平座金	-	10
M6用 ばね座金	-	10
M6用 袋ナット	-	10

●M6×70 六角ドリルねじセット

名 称	略 図	員数 10本入
M6×70 六角ドリルねじ	-	10
M6用 平座金	-	10

●外壁対応部品セット

名 称	略 図	員数
φ6用 平座金	-	10
M6×150 六角コーチボルト	-	10

●ジャバラセット

名 称	略 図	員数 1個入
ジャバラ(L=600)		1
ジャバラ用ソケット		1
取付け説明書	-	1

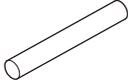
●潰れ防止部品セット

名 称	略 図	員数 10個入
潰れ防止部品	-	10

●スパンサイディング用バックアップ材セット

名 称	略 図	員数 120個入
スパンサイディング用バックアップ材	-	120

●縦どいセット

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		標準	長尺			標準	長尺
縦どい(L=3100)		1	1	92°エルボ		2	2
縦どい(L=1100)		-	1	ドレンエルボ		1	1
雨どいアタッチメント		1	1	でんでん		3	4
穴ふさぎキャップ		1	1	接着剤	-	1	1
				φ4×13 ナベドリルねじ(基材色)	-	7	8
雨どいパッキン		2	2				

●屋根パネルセット(3~6尺用)

名 称	略 図	員 数											
		3尺			4尺			5尺			6尺		
		2枚入	3枚入	4枚入									
パネル3尺	-	2	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パネル4尺	-	-	-	-	2	3	4	-	-	-	-	-	-
パネル5尺	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	-	-	-
パネル6尺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4

●屋根パネルセット(7~9尺用)

名 称	略 図	員 数							
		7尺			8尺			9尺	
		2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	4枚入
パネル7尺	-	2	3	4	-	-	-	-	-
パネル8尺	-	-	-	-	2	3	4	-	-
パネル9尺	-	-	-	-	-	-	-	2	4

●垂木取付け部品セット

名 称	略 図	員数		
		10個入	10個入	
垂木固定スペーサー		10	φ5×16 トラストッピンねじ3種	10
			M5用 六角ナット	10
			M5用 ばね座金	10

●雨どいアタッチメントセット

名 称	略 図	員数
雨どいアタッチメント		1
雨どいパッキン		1
φ4×13 ナベドリルねじ(基材色)	—	2

●穴ふさぎセット

名 称	略 図	員数
穴ふさぎキャップ		1
雨どいパッキン		1
φ4×13 ナベドリルねじ(基材色)	—	2

●でんでんセット

名 称	略 図	員数
でんでん		3
φ4×14 トラストッピンねじ3種	—	3

●ドレンエルボセット

名 称	略 図	員数
ドレンエルボ		1

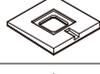
●92°エルボセット

名 称	略 図	員数
92°エルボ		1
接着剤	—	1

●柱用アンカーセット

名 称	略 図	員数
柱用アンカー		2

●柱台座セット

名 称	略 図	員 数		
		片流れ		平型
		135-150-175	200-225-250 275-300	
柱台座片流れ用(135~175)		2	—	—
柱台座片流れ用(200~300)		—	2	—
柱台座平型用		—	—	2

●70柱用スリーブセット

名 称	略 図	員数
70柱用スリーブ		2
φ5×12 トラストッピンねじ3種	—	16
φ5×30 ナベタッピンねじ3種	—	4
φ5×16 ナベドリルねじ	—	2

●1スパン下止め後付けビード

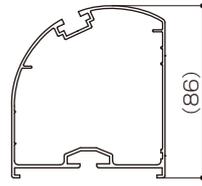
名 称	略 図	員数
1スパン後付けビード		3

●屋根材ホルダーセット(オプション)

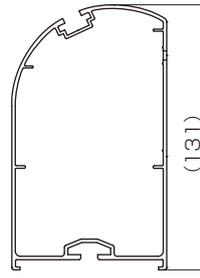
名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
屋根材ホルダー		2	3
M5×10 トラス小ねじ(基材色)	—	8	8

納まり図

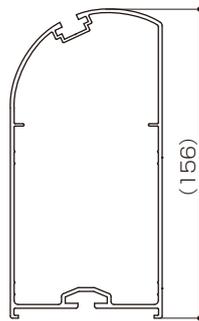
●自在桁使い分け表



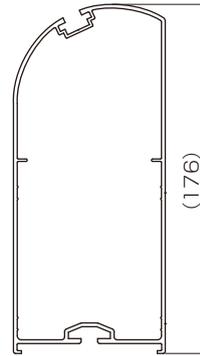
・自在桁A



・自在桁B



・自在桁C



・自在桁D

●600タイプ

出幅	間口	間				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間 通し	3.0間 通し
3尺		A		B	C	
4尺		A		B	C	
5尺		A		B	C	
6尺		A		B	C	
7尺		A		B	C	
8尺		B		C	D	
9尺		B		C	D	

●1500タイプ

出幅	間口	間			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間 通し
3尺		C			D
4尺		C			D
5尺		C			D
6尺		C			D

